

はなやか関西 ～文化首都年～ 2011

「茶の文化」

公式ガイドBOOK



「はなやか関西～文化首都年～」とは

関西は日本の文化の源泉であり、今も「本物」の文化を継承・発展させている地域です。「はなやか関西～文化首都年～」では、こうした関西が誇る「本物」を活かした取組を「テーマ」で東ね、国内外へ発信していきます。「関西ブランド」の創造により関西の価値や魅力を高め、関西一丸で、日本を先導する「文化首都圏・関西」の形成を目指します。

平成23年度のテーマは「茶の文化」です

- 茶は、日常の飲物として私たち日本人に広く愛されているとともに、「茶道」をはじめ関西をルーツとする「茶の湯文化」が起点となり、わが国独特のもてなしの文化が確立されてきました。
- 茶道具、茶室、庭園、菓子など関西生まれの茶の文化は、海外においても高い評価を得ており、関西は日本を代表する「茶の文化」の中心といえます。

関西のブランド力向上推進のための準備会構成機関

- 府 県 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、徳島県、鳥取県
- 指定都市 京都市、大阪市、堺市、神戸市
- 経済団体等 (社)関西経済連合会、大阪商工会議所、関西広域機構、(社)関西経済同友会、京都商工会議所、堺商工会議所、神戸商工会議所
- 国の地方支分部局 農林水産省近畿農政局、経済産業省近畿経済産業局、国土交通省近畿運輸局、環境省近畿地方環境事務所、国土交通省近畿地方整備局

はなやか関西 ～文化首都年～ 2011「茶の文化」実行委員会

お問い合わせ先：近畿圏広域地方計画推進室 電話 06-6942-1056 FAX 06-6942-3912

●詳しくはホームページ● <http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/index.html>

文化首都年2011

検索



ごあいさつ



はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」



ほりい よしたね
実行委員会 委員長 **堀井 良殷**
(財団法人 大阪21世紀協会 理事長)

「はなやか関西～文化首都年～」が今年から始まることになりました。関西は日本文化発祥の地であり、日本文化は世界の憧れの存在でもあります。これから毎年テーマを決めて文化首都運動を展開していくことになりました。

今年は「茶の文化」がテーマです。日本人の暮らしに深く根付いた茶の湯文化の精神は日本人の心そのものとなっています。作法だけでなく、茶室、茶道具、庭園、懐石、和菓子、茶農園、加工工場など大きな裾野が広がる文化の巨大な体系でもあります。

この機会に関西各地で多彩な取り組みを発掘・展開して茶の心を内外に発信していきたいと思います。

すぐれた文化もバラバラに存在するだけでは大きな存在感を示すことはできません。発掘し、みがき、つなぎ、発信していくことが関西のイメージ形成に大きく寄与することでしょう。関西のブランド力向上のため各位のご協力を切にお願い申し上げます。



実行委員会 アドバイザー
むらもと やすひで
寺本 益英
(関西学院大学 経済学部 教授)

日本人は平安時代の伝来以来、喫茶に特別な意味を込めてきました。特に茶道と煎茶道は、日本を代表する「芸術文化」としての地歩を固め、一方では暮らしに潤いを与える「生活文化」の側面も備えています。

さらに栄西の『喫茶養生記』で、お茶は「養生の仙薬」と記され、様々な保健効果が証明されています。

お茶の機能性、優れた歴史性・精神性を再認識し、21世紀にふさわしい喫茶文化を関西から発信してゆきましょう。



実行委員会 アドバイザー
いわさき まさや
岩崎 正彌
(皇學館大学 現代日本社会学部
伝統継承文化創造コース 准教授)
(茶の湯文化学会 理事)

「お茶を一服どうぞ」と勧められたならば「ありがたいなあ」と、どなたでも思われるのでは。このささやかな施しに、もてなしの心を込めて、この世の春夏秋冬と、花鳥風月と、人生の真理を、ひととき味わう一盃と為す、ここに日本人の美意識が極められているのではないのでしょうか。神仏より賜り、先人に磨かれ、関西で生まれた「茶の文化」の香りを、皆様と共に「ありがたいなあ」と味わい直し、未来へ語り継ぐ一年といたしたく存じます。

目次

実行委員会が実施する取組	3
--------------	---

茶道8流派

表千家	4
裏千家	5
武者小路千家	6
藪内流	7
茶道速水流	8
小川流煎茶	9
一茶菴	10
小笠原流煎茶道	11
取組参加団体イベントスケジュール	12
取組参加団体MAP	14

滋賀県

保育・幼稚園児・小学生・中学生等の茶道講座と体験茶会	15
第41回 朝宮茶感謝祭、茶まつり	16
第21回 味と香りの茶品評会	17
信楽焼伝統工芸士会秋季展「茶のうつわ展」	18
庭園…抹茶…四季の癒し…大池寺「蓬莱庭園」	19
甲賀忍者秘伝の飲料「健保茶」	20
戦国の茶会 in 虎御前山	21
お茶教室(遠州お茶教室、小学生・こども・幼児の茶道教室)	22

京都府

宇治田原町 年越し迎春手揉みの見学会	23
喫茶の魅力さがし(田原の古道)	24
宇治田原・お茶摘みと茶歌舞伎体験交流会	25
城陽茶まつり	26
心和む抹茶ふれあい体験事業	27
宇治茶まつり	28
京都宇治 和束茶フェア	29
憧れの京物—宇治茶のティーライフをお楽しみください—	30
平成23年度「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」	31
宇治茶の郷づくり協議会の取組	32
第26回国民文化祭・京都2011「大茶会」	33
第26回国民文化祭・京都2011「はじめてのお茶とお香」	34

大阪府

Picnic!(野点・野掛)	35
第38回「堺まつり」利休のふるさと堺大茶会	36
老舗のお茶工場見学	37
山本能楽堂による体験講座・見学会など	38
山上宗二忌	39
特別番組「「茶文化」~おもてなしの心を育む「茶」~(仮題)	40
伝統体験講座「池田炭づくりと茶の湯」	41
万博日本庭園茶室で「お茶」の世界へショートトリップ	42
民藝と茶(秋季特別展「民藝運動の巨匠たち—瀧田庄司・河井寛次郎・横方志功」に併設)	43

兵庫県

第30回須磨大茶会	44
大国寺と丹波茶まつり	45
第62回 豊公を偲ぶ有馬大茶会/瑞宝寺公園もみじ茶会	46

奈良県

「やまと郡山百景」お茶の文化探訪	47
円楽大楽茶	48
大茶盛式	49
利き茶お茶当てコンクール 闘茶会	50
平城京天平祭2011	51
お茶の始まりを旅しよう	52

和歌山県

第6回和歌山城市民茶会	53
-------------	----

三重県

みえ県民茶会	54
じばさん市「新茶フェア」	55
四日市萬古まつり	56
伊賀焼新緑陶器市	57

はなやか関西～文化首都年～2011 「茶の文化」実行委員会が実施する取組

1. 「茶の文化」の深みを体験する取組

○「茶の文化」に関する超一流の「本物」や関西各地に根付く「本物」をつなぐさまざまなイベントを準備しています。

取組	概要
1 「茶の文化」総合イベント	○平成23年11月19日(土)～20日(日) 於：大阪城 関西の多彩な茶の文化が一堂に会するイベントです。 ☆イベント内の多彩なプログラム 茶道見学&体験、茶に関する総合物産市、「茶の文化」フォーラム、「茶の文化」展等
2 非公開茶室の公開	①平成23年6月6日(月) 大徳寺コース (聚光院+三玄院+高桐院+孤蓬庵) ②平成23年10月予定 東山コース ③平成24年2月予定 山崎コース 案内解説：中村昌生氏 (京都工芸繊維大学名誉教授・(財)京都伝統建築技術協会理事長) 岩崎正彌氏 (皇學館大学現代日本社会学部准教授・茶の湯文化学会 理事) 各回定員30名(応募者多数の場合は抽選) 申込方法、参加費用等は、4月末にHPでお知らせします。
3 「茶の文化」観光PRキャンペーン	観光シーズンに、多くの人が行き交う施設等において、関西の多彩な「茶の文化」をPRするキャンペーンを準備しています。
4 「茶の文化」フラグラム	「茶の文化」にまつわるシンポジウム等や茶に関連する文化施設の連携プログラムを準備しています。
5 「茶の文化」スタンプラリー	○平成23年6月～平成24年3月(予定) 関西各地の「茶の文化」にゆかりある場所を巡るスタンプラリーです。 さまざまなテーマコースと素敵な賞品をご用意しています。

2. 「茶の文化」にまつわる多彩なPR

1 「はなやか関西～文化首都年～2011」公式ガイドブック	→ この1冊で「はなやか関西～文化首都年～2011」のすべてがわかります！
2 関西はなやか美術館～関西で「本物」の茶道具を所蔵する美術館～	→ 関西の『本物』を身近に感じることができる1冊です。
3 「はなやか関西～文化首都年～」ホームページ (「文化首都年2011」で検索)	→ 常時更新しています。「はなやか関西～文化首都年～2011」の最新情報は、ここをチェック！

「はなやか関西～文化首都年～2011」に寄せて

はしづめしんや
橋爪紳也

(大阪府立大学特別教授/関西のブランド力向上推進有識者委員会 座長)

都市は産業を発展させるとともに、学術・芸術・技術の「三術」、すなわち文化を育む。私たちが暮らす関西の圏域には、日本文化の神髄を創造してきた多彩な文化都市群が存在、その営為は今日においても怠ることとはなく継続されている。ゆえに関西は、世界でも稀な真の「文化首都圏」である。

「はなやか関西～文化首都年～」は、私たちが誇りとする「本物」の文化的価値と、文化を活かした地域づくりの成果を発信する試みである。平成23年度は「茶の文化」を主題に選定、各地域の優れた取り組みをつなぐこととなった。「茶の文化」を媒介として、関西の素晴らしさに、国内はもとより世界中の人々が触れる機会を得ることを期待したい。



おもてせんけ
表千家

利休によって大成された茶の湯は、400年余りにわたって表千家不審菴にうけつがれて参りました。不審菴とは、利休が営んだ茶室の名で、歴代の家元がこれを継承してきました。また、不審菴は千家の屋敷ならびに機構の全体をさし、千宗左家元の号でもあります。

不審菴の号は「不審花開今日春」の禪語から採られたといわれます。不審は「いぶかしい」という意味で、この語は人智を超えた自然の偉大さ、不思議さに感動する心ともいえます。

茶の湯は「おいしいお茶をもって、主客ともに楽しみ、心を通い合わせること」に大きな意義があります。おいしいお茶とは、味覚だけでなく、道具組の趣向、季節や歳時と

の呼応、主のふるまいの美しさや語りの奥ゆかしさ、客同士の心づかいといった、一座を成り立たせるまたとない一時がもたらす味わいといえましょう。

子どもは、日々の稽古をつうじてその古き心をまなび、今日の生活にいかす道をもとめてまいりました。その伝統は、単なる型の継承ではなく、歴史の中でそのあり方が模索され、その時代時代に即した新たな息吹がそそぎ込まれることで、生きた文化として伝えられています。



表門



不審菴

■平成23年度（平成23年4月～平成24年3月）の一般参加可能な催し

催し	場所	開催日	問合せ先
二条城観桜茶会	二条城(清流園)	平成23年4月9日(土)	二条城 TEL.075-841-0096
公開文化講座 講師：山口富蔵氏（末富主人） 演題：「京菓子の世界」	表千家北山会館	平成23年4月23日(土)	表千家北山会館 TEL.075-724-8000
公開文化講座 講師：中村昌生氏（京都工芸繊維大学名誉教授） 演題：「見なおそう茶室を（その4）利休流と数奇屋」	表千家北山会館	平成23年5月14日(土)	表千家北山会館 TEL.075-724-8000
公開文化講座 講師：中村昌生氏（京都工芸繊維大学名誉教授） 演題：「見なおそう茶室を（その4）宗旦四天王から千家の中興へ」	表千家北山会館	平成23年5月28日(土)	表千家北山会館 TEL.075-724-8000
秋の特別展 （仮）「茶の湯家元の四季」	表千家北山会館	平成23年10月22日(土) ～11月30日(水)	表千家北山会館 TEL.075-724-8000
茶の湯文化にふれる市民講座 （仮）「茶の湯の四季～その移ろいの趣向」	表千家北山会館	未定	表千家北山会館 TEL.075-724-8000
国民文化祭京都「京都大徳寺茶会」	大徳寺（聚光院）	平成23年10月29日(土) ～10月30日(日)	国民文化祭京都府実行委員会 TEL.075-414-4225
国民文化祭「はじめてのお茶とお香」	建仁寺（西来院） ・八坂倶楽部	平成23年11月5日(土) ～11月6日(日)	国民文化祭京都市実行委員会 TEL.075-366-1495
二条城市民茶会 主催：京都市	二条城(清流園)	平成23年11月1日(火)	二条城 TEL.075-841-0096

表千家不審菴

■〒602-0061 京都市上京区小川通寺之内上ル本法寺前597 ■TEL.075-423-2195 ■FAX.075-431-3147
■URL <http://www.omotesenke.jp>

うらせんけ
裏千家

千利休の孫で茶禅一味を唱え、千家茶道の礎を築いた千宗旦は、自分の茶を末子宗室に譲ろうと利休の子少庵以来の敷地内に茶室を建てて移り住みました。これが「裏千家今日庵」のはじまりです。大徳寺の清庵和尚は席披きのために宗旦に招かれますが約束の時刻に遅れてしまいます。宗旦は和尚が現れないので所用のため出掛けますが、帰ってみると和尚は茶室の腰張りに「懈怠比丘不期明日」を書きつけて帰ってしまっています。今日という日、いまこの時の大切さを強調する意に感じ入った宗旦はこれに因み茶室を「今日庵」と命名しました。これが裏千家今日庵の由来とされています。

茶道は、一盃のお茶を介して亭主と客がいかにか心地よくすごすことが出来るか、利休居士より四百数十年かけて創り上げられてきた心の触れあいを大切にする世界です。裏千家ではこのような茶の心を多くの方に知っていただくために様々な場を設け茶の湯の紹介つとめています。お茶を基本から学びたいという初心の

方々のために稽古場を紹介するほか、「初心者のための茶道教室」を全国18都市で開催しています。

あなたも気軽に一盃を楽しんでみませんか。



茶室「今日庵」内部



兜門

■平成23年度行事予定

【展覧会】	米寿記念展 裏千家15代家元「鵬雲斎千玄室の茶」 秋季特別展 「松井文庫の茶道具」(仮称)	4月9日(土)～9月19日(月・祝) ※休館日あり 10月1日(土)～12月4日(日) ※休館日あり
【講演会】	「茶道とともに」 講師：鵬雲斎千玄室大宗匠(茶道資料館館長) ※定員120名、往復葉書申込先着順(4月1日から) *詳細はお問合せください。	4月30日(土)
【茶道体験】	講師が指導。時間は1時間程度。定員12名。1週間前までの電話申込。 通年実施(但し展覧会開催日) ・開始時間①10:00、②11:00、③13:00、④14:00、⑤15:00	
【その他】	入館者に呈茶。講演会、ミュージアムコンサートについては順次ホームページでお知らせします。	会場：茶道資料館 直通電話：075-431-6474
【初心者のための茶道教室】	期間：平成23年10月～平成24年3月(6ヶ月間 全22回) ※申込は7月下旬から 関西地区：京都市4会場(京都ホテルオークラ、リーガロイヤルホテル京都、からすま京都ホテル、ウエスティン都ホテル京都) 大阪市4会場(ホテルニューオータニ大阪、ヴィアーレ大阪、ウエスティンホテル大阪、シエラトン都ホテル大阪) 神戸市2会場、姫路市1会場でも開催。	お問合せフリーダイヤル 0120-31-1166

裏千家

〒602-8688 京都市上京区堀川通寺之内上る TEL.075-431-3111 FAX.075-431-3123
URL <http://www.urasenke.or.jp> E-mail info@urasenke.or.jp

写真出典：裏千家

むしゃこうじせんけ

武者小路千家

武者小路千家は、千利休を祖とする三千家の一つです。利休の孫 元伯宗旦の次男である一翁宗守が江戸初期に京都の今の地に茶室「官休庵」を建てて以来、現在に至るまで絶えることなく利休の道統を継承し、またそれぞれの時代の変化にも対応しながら茶の湯を続けています。

一翁宗守は、はじめ陽明家（近衛家）の茶道指南の地位にあり、その後讃岐高松藩に仕え、幕末の11代一指斎宗守までその指南役をつとめました。

茶室「官休庵」は、父 宗旦からついても

らった名と伝えられております。その由来として、安永3年（1774）、一翁宗守100年忌の折に大徳寺390世眞巖宗乗和尚が書かれた頃に「古人云官因老病休 翁者蓋因茶休也歟」とあり、茶に専念するために官を辞したことによると解釈されています。

武者小路千家の当主が名乗る「宗守」の名は、一翁の参禅の師である大徳寺の第185世玉舟宗瑠和尚の命名で、歴代家元がこの名を襲名しています。また、その折同時に示された「宗屋」の名は代々後嗣に継がれ、「宗安」は隠居後の号となっております。



武者小路千家露地中門 編笠門



茶室「官休庵」外観



生田神社献茶式にて

■平成23年度行事予定

※行事についての詳細は、事務局までお問い合わせください。

催し	場所	開催日
知恩院法然上人800年遠忌献茶式	京都 知恩院	平成23年 4月8日(金) (中止)
南宗寺献茶式	大阪 南宗寺	平成23年 4月27日(水)
鶴ヶ岡八幡宮献茶式	鎌倉 鶴ヶ岡八幡宮	平成23年 6月19日(日)
利休忌月忌法要掛釜	京都 大徳寺 聚光院	平成23年 6月28日(火)
利休忌月忌法要掛釜	京都 大徳寺 聚光院	平成23年 9月28日(水)
建長寺茶会	鎌倉 建長寺	平成23年10月24日(月)
京都府国民文化祭茶会	京都 大徳寺 芳春院	平成23年10月29日(土)
水無瀬神宮献茶式	大阪 水無瀬神宮	平成23年11月11日(金) 予定
利休忌月忌法要掛釜	京都 大徳寺 聚光院	平成23年12月11日(日)

武者小路千家

〒602-0936 京都市上京区武者小路通小川東入613 TEL.075-411-1000 FAX.075-411-1003
 URL <http://www.mushakouji-senke.or.jp> E-mail info@mushakouji-senke.or.jp

写真典拠:武者小路千家官休庵

やぶのうちりゅう
藪内流

藪内流は藪内剣仲を流祖とした茶家であり、現在で十三代を数える。藪内剣仲は利休と同時代の人物であり、利休とは武野紹鷗に茶の湯を学ぶ兄弟弟子の間柄であった。また、古田織部とも茶の湯を通じて親交があり、利休を介し織部の妹を妻に迎えている。藪内家の呼び名にもなっている茶室「燕庵」は織部より受け継いだ茶室である。

元は下長者町新町の辺りに居を構えていたが、二代家元の代に西本願寺良如上人の招きにより西本願寺の茶道師家として迎えられ、本願寺の寺領地だった現在の地を拝領し、以来現在の地（下京）に居を構えている。西本願寺との由緒は現在でも残っており、良如上人へ茶菓を献じて以来、今日に至るまで、ご門主への献茶は続く。

藪内流の茶法は「正直を以て心を守り、清浄を以て事を行い、礼和を以て人と交わり、質朴を以て身を修める」を茶の湯の精神としており、これを略して「正直清浄礼和質朴」と表現している。所作は大振りです。



重要文化財茶室 燕庵

性的であり、帛紗は右側につけるのが特徴である。また、利休時代からの台子の茶法、小間における侘びの茶法の両様を兼ね備えているのも大きな特徴である。



絹糸堂でのお点前



藪内家表門

■平成23年度行事予定

催し	場所	開催日
伏見稲荷献茶祭	伏見稲荷大社	平成23年4月10日(日)
国民文化祭大茶会	大徳寺	平成23年10月29日(土)~30日(日)
京都市市民大茶会	二条城内清流園	平成23年11月3日(木)

藪内流

〒600-8329 京都市下京区西洞院通正面下る鍛冶屋町430 TEL.075-371-3317 FAX.075-371-1699
 URL <http://www.yabunouchi-ennan.or.jp/> E-mail kogisado@yabunouchi-ennan.or.jp

さどうはやみりゅう
茶道速水流

茶道速水流では始祖速水宗達の唱えた『敬和静寂』の精神のもと、流儀の特徴である温厚で優雅な茶道を皆様方に知っていただくために下記の茶会を開催しております。

是非、茶会に参加していただき、茶道の新たな面を再認識して頂きたいと思っております。



伏見 御香宮月釜での茶会



聖護院献茶式



近江八幡市立資料館・西川邸にて
ひむれの里茶会の様子



平野神社 紫式部祭献茶式
舞楽殿での献茶の様子

■平成23年度行事予定

催し	場所	開催日
ひむれの里茶会	近江八幡	平成23年5月5日(木)
聖護院献茶式	聖護院門跡	平成23年6月7日(火)
明月舎月釜	北野天満宮	平成23年8月1日(月)
御香宮月釜	伏見 御香宮	平成23年9月11日(日)
澄心会月釜	平安神宮	平成23年9月11日(日)
紫式部献茶式	平野神社	平成23年10月2日(月)
平安神宮献茶式	平安神宮	平成24年4月16日(月)

茶道速水流

〒603-8321 京都市北区平野鳥居前町79 TEL.075-462-0295 FAX.075-462-0210

URL <http://www.ab.auone-net.jp/hayami/index.html> E-mail hayamiryu@ac.auone-net.jp

写真出典：
速水流ホームページ

おがわりゅうせんちや

小川流煎茶

小川流煎茶は、今からおよそ二百年前の江戸後期、京の御典医であった小川可進によって始められました。

古くは中国唐代の文人へのあこがれから、平安時代にその端を発するといわれる煎茶ですが、流祖小川可進は茶の真味にもとづき「茶は渴を止むるに非ず、飲むに非ず、喫するなり」と主張し、もと医者であった持ち味を生かして、衛生的かつ合理的な独自の煎法をみ出しました。しかも風雅な趣もあり、近衛家や一条家など京洛の貴紳をはじめ、幕末の志士や文人にも愛好されてきました。

小川流の手前は、美味しい茶味を引き出す

ことを主眼とし、それぞれの茶葉、季節や場所、用いる茶具などで様々なバリエーションが加わり、三十を超える種類があります。その理にかなった手前がひき出す茶液は、ごく少量ではありますが、お茶のうまみのエキスだけを抽出したもので、口中にひろがるその茶味は、かの夏目漱石も小説「草枕」の中でとりあげるなど、多くの方々に感動を与えてきました。

小川流煎茶を通じて、毎日のお茶がこんなに美味しいものだったかと、改めて煎茶のよさを再発見していただければ幸いです。



二条城 香雲亭での煎茶席



下鴨神社 直会殿での煎茶席



平安神宮 勅使館での煎茶席

■平成23年度行事予定

催し	場所	開催日
二条城市民煎茶の会	二条城	平成23年5月5日(木・祝)
葵祭煎茶献茶祭	下鴨神社	平成23年5月21日(土)
近江神宮煎茶献茶式	近江神宮	平成23年6月26日(日)
平安神宮煎茶献茶祭	平安神宮	平成23年9月25日(日)
第二回松籟茶会	朝日酒造松籟閣(新潟長岡)	平成23年10月8日(土)
国民文化祭・京都2011 京都府南山城村煎茶会	南山城村 やまなみホール	平成23年10月30日(日)
国民文化祭・京都2011 南禅寺煎茶会	南禅寺 慈氏院	平成23年11月5日(土)
はなやか関西文化首都年2011 「茶の文化」	大阪城 豊松庵	平成23年11月19日(土)
春日大社献茶式	春日大社	平成23年11月29日(火)

小川流煎茶

〒603-8026 京都市北区上賀茂中山町38 小川後楽堂 TEL.075-721-7258 FAX.075-721-0952

URL <http://www.ogawaryu.com/> E-mail ogawaryu@dune.ocn.ne.jp

写真出典：三清庵小川後楽堂

いっさあん
一茶菴

「煎茶」は江戸中期に文人たちによって培われました。緑茶の茶葉も急須もなかった時代に、文人たちは書斎（文房といえます）で詩や書や絵をかきながら、ひとりで味わう楽しみとして「煎茶」をつくりあげました。

書斎（文房）で愉しむものですから、「煎茶」は自分だけが自分を楽しむ「自娛」の世界。そしてもちろん、日常の生活感から自由に解放された非日常の「去俗、離俗」の世界です。

「煎茶」の味は、だから今まで飲んだことのない非日常、至妙の味。そんな味わいを求めて多様な茶葉と多様ないれ方が工夫されました。

味やいれ方ばかりではありません。煎茶室から煎茶会のしつらえ、料理まで、非日常に精神を遊ばせる「煎茶」は、文人たちになくてはならない表現のひとつでした。売茶翁、

池大雅、木村兼葭堂、上田秋成、頼山陽など、江戸時代を代表する知識人、芸術家が「煎茶」に耽溺したのです。

しかし「煎茶」は明治以後には家庭生活にとりいれられ日常化していきます。

一茶菴はそうした風潮の中でも、文人の「去俗自娛」の「煎茶文化」を伝えつづけて、多くの文人墨客が集う牙城として知られました。長尾雨山、菅楯彦、末永雅雄など近現代の文人たちも、一茶菴で「煎茶」の「去俗」世界を体現しているのです。



■平成23年度の関西での主な催し

催し	場所	開催日	問合せ先
月見の煎茶会	黄檗山万福寺	平成23年10月1日(土)	全日煎事務局 TEL.0774-32-1368
久保惣美術館 楽しい煎茶の会	久保惣記念美術館	平成23年10月30日(日)	久保惣記念美術館 TEL.0725-54-0001
秋成茶会	一茶菴	平成23年11月3日(木)～6日(日)	一茶菴事務局 TEL.06-6941-8001
文楽正月公演協賛煎茶席	国立文楽劇場	平成24年1月22日(土)	一茶菴事務局 TEL.06-6941-8001
春及茶会	一茶菴	平成24年3月23日(金)～26日(月)	一茶菴事務局 TEL.06-6941-8001

一茶菴

〒540-0037 大阪市中央区内平野町1-1-5-203 ■TEL.06-6941-8001 ■FAX.06-6943-6899
■URL <http://www.human-n.co.jp/issa-an> ■E-mail issa-an@cronos.ocn.ne.jp

写真出典：一茶菴

おがさわらりゅうせんちやどう

小笠原流煎茶道

財団法人小笠原流煎茶道は鎌倉時代から伝わる小笠原流作法を基礎として成り立った煎茶方式であり、伝統を守りながらも現代に相応した茶道として改善と工夫を重ね洗練して出来上がったものです。

兵庫県芦屋市に本部を置き、国内はもとよりアメリカ・中国・ヨーロッパなどにも煎茶道文化の普及に努めております。

現代に伝わる煎茶道文化にはおもてなしの意義や、思いやりの心、美への感受性の大切さなど現代社会においては欠かすことの出来ないエッセンスが詰まっております。日本人に脈々と伝えられた煎茶を飲みながらの心の交流、相手を尊重して交わる空間というものの素晴らしさ



心の込めて淹れられた一煎の玉露



家元叙祝賀会における祝賀茶席



小学生文化交流会(煎茶会でおもてなし)



男性による両勝手手前

を関西から発信していく機会になればと考えています。四季を通じ、各地で煎茶会を実施しております。ご興味のある方は、是非お越しください。

お問い合わせは(財)小笠原流煎茶道まで。

■平成23年度行事予定

※日程変更の可能性もありますので、詳細はお問い合わせください。

催し	場所	開催日
関西学院大学同窓会協賛茶会	西宮市 関西学院大学関学会館	平成23年4月23日(土)
全日本煎茶道連盟全国大会	京都府 黄檗山万福寺	平成23年5月22日(日)
顕鐘塔供養茶会	京都府 嵯峨野村雲別院	平成23年5月28日(土)
神戸女学院大学バザー協賛茶会	西宮市 神戸女学院大学	平成23年5月29日(日)
全日本煎茶道連盟秋の夕べ茶会	京都府 黄檗山万福寺	平成23年10月1日(土)
家元初煎会	兵庫県芦屋市 本部会館	平成24年1月7日(土)・8日(日)・9日(祝)・14日(土)・15日(日)
川西市茶道協会月釜茶会	川西市中央公民館茶室	平成24年3月4日(日)
春風の宴・学生煎茶会	西宮市 大谷美術館	平成24年3月18日(日)
美味しいお茶と礼儀作法こども教室	西宮市 NHK文化センター 西宮ガーデンズ教室	平成24年4月～9月 (第1・3水曜日)全12回

財団法人 小笠原流煎茶道

〒659-0091 兵庫県芦屋市東山町12-2 TEL.0797-22-5405 FAX.0797-22-7532
URL <http://www.ogasawarayuu.or.jp> E-mail iemoto@ogasawarayuu.or.jp

写真出典：(財)小笠原流煎茶道

はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」 取組参加団体イベント スケジュール

■ 家元等による茶道等 ■ 茶会・まつり等 ■ 他テーマと茶の融合 ■ 茶にまつわる工芸・文化財公開等
■ 茶産業観光等 ■ 市民参加・体験等 ■ 茶栽培技術・研究開発

場所	頁	NO	取組	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
滋賀	-	S1	「近江の茶」に親しむ体験学習会 (社)滋賀県茶業会議所	随時																																			
	p.15	S2	保育・幼稚園児・小学生・中学生等の茶道講座と体験茶会	随時																																			
	p.16	S3	第41回 朝宮茶感謝祭、茶まつり																																				
	p.17	S4	第21回 味と香りの茶品評会																																				
	p.18	S5	信楽焼伝統工芸士会秋季展「茶のうつわ展」	10/29~11/29																																			
	p.19	S6	庭園…抹茶…四季の癒し…大池寺「蓬萊庭園」																																				
	p.20	S7	甲賀忍者秘伝の飲料「健保茶」																																				
	p.21	S8	戦国の茶会 in 虎御前山	10																																			
	p.22	S9	お茶教室 (遠州お茶教室、小学生・こども・幼児の茶道教室)																																				
京都	p.23	K1	宇治田原町 年越し迎春手揉みの見学会																																				
	p.24	K2	喫茶の魅力さがし (田原の古道)	7/30~31 あいはいは8/6~7																																			
	p.25	K3	宇治田原・お茶摘みと茶歌舞伎体験交流会	8																																			
	p.26	K4	城陽茶まつり	16																																			
	p.27	K5	心和む抹茶ふれあい体験事業																																				
	p.28	K6	宇治茶まつり	2 (予定)																																			
	-	K7	第6回「春の大茶会」 (社)京都府茶業会議所	詳細未定																																			
	p.29	K8	京都宇治 和束茶フェア	5/1~6/30																																			
	p.30	K9	憧れの京物—宇治茶のティーライフをお楽しみください																																				
	p.31	K10	平成23年度「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」	2																																			
	p.32	K11	宇治茶の郷づくり協議会の取組																																				
p.33	①	第26回国民文化祭・京都2011「大茶会」	10/29~11/6																																				
p.34	②	第26回国民文化祭・京都2011「はじめてのお茶とお香」	5~6																																				
大阪	p.35	O1	Picnic! (野点・野掛)	検日のうえ随時																																			
	p.36	O2	第38回「堺まつり」利休のふるさと堺大茶会	15~16																																			
	p.37	O3	老舗のお茶工場見学	19																																			
	p.38	O4	山本能楽堂による体験講座・見学会など																																				
	p.39	O5	山上宗二忌	10																																			
	p.40	O6	特別番組「茶文化」～おもてなしの心を育む「茶」～ (仮題)	6月頃から 1ヶ月間 7月以降 (web配信)																																			
	p.41	O7	伝統体験講座「池田炭づくりと茶の湯」																																				
	p.42	O8	万博日本庭園茶室で「お茶」の世界へショートトリップ																																				
	p.43	O9	民藝と茶 (秋季特別展「民藝運動の巨匠たち—瀧田庄司・河井寛次郎・榎方志功」に併設)	9/10~12/20																																			
兵庫	-	H1	有馬大茶会・瑞宝寺公園もみじ茶会 (社)有馬温泉観光協会	2~3 (予定)																																			
	p.44	H2	第30回須磨大茶会	29																																			
	p.45	H3	大国寺と丹波茶まつり	4~5																																			
	p.46	H4	第62回 豊公を偲ぶ有馬大茶会/瑞宝寺公園もみじ茶会	2~3・11~23																																			
奈良	p.47	N1	「やまと郡山百景」お茶の文化探訪	18																																			
	p.48	N2	円楽大茶会	8 (雨天の場合は9に順延)																																			
	p.49	N3	大茶盛式	9~10																																			
	p.50	③	利き茶お茶当てコンクール 闘茶会	秋頃 (予定)																																			
	p.51	N4	平城京天平祭2011	4/29~5/5																																			
p.52	N5	お茶の始まりを旅しよう	15																																				
p.52	N5	お茶の始まりを旅しよう	16																																				
和歌山	p.53	W1	第6回和歌山城市民茶会	15~16																																			
三重	p.54	M1	みえ県民茶会																																				
	p.55	M2	じばさん市「新茶フェア」	4~5																																			
	p.56	M3	四日市萬古まつり	14~15																																			
	p.57	M4	伊賀焼新緑陶器市	2~4																																			
近畿他	-	⑤	ビジット・ジャパン地方連携事業 (近畿運輸局)																																				

「茶の文化」をテーマにした取組参加団体MAP



S2

保育・幼稚園児・小学生・中学生等の茶道講座と体験茶会

時 期：毎年2月中旬／5月～11月週1回3・4時間目、延28時間／4月、5月、10月、11月の日曜・国民の休日10時～4時／毎年1月、2月中・下旬
場 所：下記参照

【問い合わせ先】 茶道遠州会長浜支部

■〒526-0845 長浜市小堀町518 ■TEL.0749-62-9008 ■FAX.0749-62-9008 ■担当 古山友三

主催：茶道遠州会長浜支部

小堀遠州公顕彰会／長浜西中学校／長浜城歴史博物館／市立大谷保育園・長浜幼稚園・六荘認定こども園

■保育・幼稚園児・小学生・中学生・大人の茶道指導と体験茶会

小堀遠州の出生地の小学校6年生児童約100余名を小堀町遠州会館に招き、郷土の先人小堀遠州はどんな人かを話し、遠州流の茶道体験をして貰います。

長浜西中学校では平成18年から文部科学省「国の伝統文化を尊重する実践モデル事業」の指定を受け茶道等8項目の伝統文化講座を設け、総合学習の中で、週1回延べ30回授業が行われ、当茶道長浜支部が講座を担当して2・3年併せて60人を初歩の点法ができるように指導、11月20日に発表会を予定。

長浜城歴史博物館の添釜席として同館4

階で4月・5月・10月・11月の日曜・休日に会員が交代で茶席を担当しています。

市内保育園・幼稚園・認定こども園で4・5才児を対象に毎年2月中・下旬に体験茶会を開催しています。

開催場所

小堀町遠州会館／長浜市小堀町196-1
長浜公民館／長浜西中学校／長浜市高田町10-10
長浜城歴史博物館4階茶室／長浜市公園町10-10
大谷保育園／長浜市元浜町32-4
長浜幼稚園／長浜市朝日町5-14
六荘認定こども園／長浜市勝町491



長浜西中学校伝統文化茶道講座指導風景 出典：茶道遠州会長浜支部



南郷里小学校6年生体験茶会 出典：小堀遠州公顕彰会



大谷保育園体験茶会風景 出典：市立大谷保育園



長浜城歴史博物館添釜席 出典：長浜城歴史博物館

S3

第41回 朝宮茶感謝祭、茶まつり

時期：平成23年11月下旬

場所：岩谷山仙禅寺(感謝祭)、朝宮小学校グランド(茶まつり)

滋賀県甲賀市信楽町上朝宮

【問い合わせ先】 甲賀市

■〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053 ■TEL.0748-65-0711 ■FAX.0748-63-4592

■E-mail koka273000@city.koka.lg.jp ■担当 農業振興課 徳地

主催：信楽町茶業協会

■第41回朝宮茶感謝祭、茶まつり

甲賀市信楽町における茶栽培の歴史は平安時代に遡り、およそ1200年前の805年、天台宗の祖最澄が唐よりチャの種子を持ち帰り岩谷山に茶を植え、815年、朝廷に献上するために始まったといわれています。

茶は標高300m～450mの山間傾斜地で栽培され、香りの立つ「朝宮茶」として全国から高い評価を受けており、日本五大銘茶に数えられ、全国や関西の茶品評会普通煎茶の部で何度も農林水産大臣賞を受賞しています。

「第41回朝宮茶感謝祭」は、朝宮茶業の先人の苦勞に対する感謝と今後の発展を祈願し、岩谷山仙禅寺にて執り行います。

また、同日地元の朝宮小学校グランドにて茶まつりを開催しますので、香り高い朝宮茶を是非一度ご賞味ください。



出品茶の収穫

出典：甲賀市



お茶の手もみ

出典：信楽町茶業協会



会場風景

出典：信楽町茶業協会



お茶の販売

出典：信楽町茶業協会

S4

第21回 味と香りの茶品評会

時期：11月下旬

場所：日吉大社

滋賀県大津市坂本5-1-1

【問い合わせ先】 甲賀市

■〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053 ■TEL.0748-65-0711 ■FAX.0748-63-4592

■E-mail koka273000@city.koka.lg.jp ■担当 農業振興課 徳地

主催：土山町茶業協会

■第21回 味と香りの茶品評会

甲賀市土山町で生産されている土山茶は、室町時代文和5年（1356年）、常明寺（甲賀市土山町）の僧鈍翁が、京都の大徳寺からチャの種子を持ち帰り栽培したことが始まりといわれています。栽培が盛んになったのは、それより300年後の江戸時代に入ってからで、永雲寺の僧天嶺が茶を広く栽培し村人や旅人の飲料として分け与えたものが「あけぼの茶」として有名になり、これが土山茶の礎となっています。

現在、甲賀市土山町ではかぶせ茶の生産が盛んで、全国や関西の茶品評会では、何度もかぶせ茶の部で農林水産大臣賞を受賞しています。

「第21回味と香りの茶品評会」は、出品された土山のお茶をお茶の専門家による1次審査で上位10点を選び、会場に訪れた一

般の来場者に試飲していただき、おいしいと思ったお茶に投票してもらい順位を決定していきます。

一次審査で選ばれた、選りすぐりの美味しい土山のお茶を一度ご賞味いただき、品評会の審査にご参加ください。



審査風景



審査会場



審査会場

S5

信楽焼伝統工芸士会秋季展『茶のうつわ展』

時期：平成23年10月29日(土)から平成23年11月29日(水)

場所：甲賀市 信楽伝統産業会館

滋賀県甲賀市信楽町長野1142

【問い合わせ先】甲賀市信楽伝統産業会館

■〒529-1851 滋賀県甲賀市信楽町長野1142 ■TEL.0748-82-2345 ■FAX.0748-82-2551

■E-mail toshiyasu.hiraoka@city.koka.lg.jp ■担当 平岡利康

主催：甲賀市信楽伝統産業会館

信楽焼伝統工芸士会

■『茶のうつわ展』（信楽焼伝統工芸士会秋季展）

やきものの歴史の中で最も華やいだ頃、それが桃山時代です。

戦国時代の茶人に見出された信楽焼は、釉をかけない焼締めめの茶壺や水差・建水を主に作っていました。信楽焼の名品と呼ばれるものの多くは、この時期につくられたものです。以来、信楽焼の茶陶は侘茶の保守本流ともいうべき地位を築くことになったのです。

桃山時代といえば備前焼や伊賀焼・織部焼など、焼物の世界の中で異彩を放つ造形や色彩が表現されるようになりました。信楽ではどのようなものをつくりだしてきたのでしょうか。

窯構造は、十七世紀初頭頃以降は、「双胴式」からいわゆる割竹式へと変化します。これは、信楽独自の展開ではなく、他地域からの技術導入によるものと考えられますが、詳細については明らかではありません。製品は、

壺・甕・搦鉢を主とした無釉の焼締陶器と、備前焼などとは異なる侘びた雰囲気の花陶をつくっていました。

今日まで受け継がれてきた信楽焼茶陶の作品をご覧ください。



茶器（パネル／甲賀市信楽伝統産業会館所蔵）



水指（甲賀市信楽伝統産業会館所蔵）



茶碗（甲賀市信楽伝統産業会館所蔵）

S6

庭園…抹茶…四季の癒し…大池寺「蓬莱庭園」

時期：通年

場所：大池寺「蓬莱庭園」

滋賀県甲賀市水口町名坂1168

【問い合わせ先】大池寺「蓬莱庭園」

■〒528-0035 滋賀県甲賀市水口町名坂1168 ■TEL.0748-62-0396 ■FAX.0748-63-0397

■担当 清水寿晴

主催：大池寺蓬莱庭園保存会

■庭園…抹茶…四季の癒し…大池寺「蓬莱庭園」

四季折々に繰り出される庭園を眺めながらの抹茶をお召し上がりください。

大池寺「蓬莱庭園」は江戸初期寛永年間以小堀遠州の作として伝えられるサツキの大刈り込み觀賞式枯山水庭園です。

書院前方正面の二段大刈り込みと、左右の大刈り込みは大洋の大波小波を現し白砂の水面上に刈り込みを以って宝船を浮べ、中に七つの石と小さな刈り込みで七宝と七福神を象徴しています。又、縁先右側には、刈り込みによる亀島を、中央には礼拝石が配されています。

例年五月下旬より紅白数種入り乱れて咲くサツキは恰も友禅模様のごとく実に華麗なる眺めであり、八・九月ともなれば刈り込みの線条日美うるわしく幽雅流麗の様はこの庭園の真の美しさを味わうことが出来ます。

秋は背景の紅葉に彩られ赤・緑・白三色配合の美、最も美しく冬は紫褐色に変じて閑雅静寂、茶人の好む庭園となり、まさに「静中の動」とも言うべく禅味豊かな作者の非凡さを窺うことが出来ます。

書院広報茶室の前庭は、築山枯山水にて蓬莱山と、通称し、石組みに数種の灌木とサツキを配し一樹の老松で以って鶴の舞を象徴しています。

尚、当寺は天平年間行基菩薩の開創の地で境内の周辺には雄大なる心字の池があり、蒼

樹碧潭をたたえ風向明媚にして千古の靈跡を物語っています。

是非、この大池寺蓬莱庭園にて、普段の生活から少し離れた、静寂なお時間をお過ごしください。



春の大池寺「蓬莱庭園」



夏の大池寺「蓬莱庭園」



秋の大池寺「蓬莱庭園」

S7

甲賀忍者秘伝の飲料「健保茶」

時期：通年

場所：甲賀流忍術屋敷

滋賀県甲賀市甲南町電法師2331

【問い合わせ先】 甲賀流忍術屋敷

■〒520-3311 滋賀県甲賀市甲南町電法師2331 ■TEL.0748-86-2179 ■FAX.0748-86-7505

■URL <http://www.kouka-ninja.com/> ■担当 福井 寛

主催：近江製剤株式会社（甲賀流忍術屋敷）

■甲賀忍者秘伝の飲料「健保茶」

甲賀忍者秘伝の飲料「健保茶」は甲賀流忍術屋敷で試飲（入館者にサービス）、販売しております。

約600年前から甲賀忍者は、ハトムギを主に多彩な薬草をブレンドした薬湯を常飲しており、健康を保つためにかかせない飲み物だったと言われております。その飲み物を、飲みやすく改良したものが、甲賀流忍術屋敷の「健保茶」です。

甲賀流忍術屋敷は、甲賀忍者53家の筆頭格にあたる望月出雲守の屋敷として300年前（元禄年間）に建てられたものです。外見は普通の屋敷と変わりませんが、内部には忍者の住まいにふさわしく、侵入者から身を守る為のどんでん返しや落とし穴などさまざまな仕掛けが施されています。

他にも、実際に手裏剣を投げることができる手裏剣道場もあります。

また、屋敷内には、忍者関係の道具や書籍を展示しており、忍者にまつわる歴史を学ぶこともできます。

荒修行にも耐えた忍者が飲んでいたと言われる「健保茶」を飲んで、現代の荒波にも耐えることができる忍者になってみてください。



甲賀流忍術屋敷



甲賀流忍術屋敷 展示品



甲賀流忍術屋敷 手裏剣道場

S8

とらごぜやま 戦国の茶会 in 虎御前山

時 期：平成23年7月10日(日) AM10:00～

場 所：時遊館及虎御前山信長陣城跡他 2カ所
長浜市三川町1635-2

【問い合わせ先】 虎姫人づくり交流振興会

■TEL.0749-73-5030 ■FAX.0749-73-5037

■E-mail torahime-jiyukan@city.nagahama.lg.jp

主催：虎姫人づくり交流振興会
古墳と中世城郭の保全顕彰会

虎御前山は戦国の時代、天下布武を掲げた信長が築いた陣城である。遺構は近年地元の人や学識経験者の協力を得て次第に明らかになってきている。この山上で戦国茶会を催し、当時の時代に思いを馳せたい。

内 容：陣中点前 体験コーナー(抹茶点て 抹茶挽き) 武将の名前入り茶碗を抽選でプレゼント。

臨地講演

参加費：500円(抹茶付き)

その他：ハイキングできる服装

(雨天時は時遊館で催す)



遺構の案内板設置



伝織田信長陣城跡



信長馬場より南方横山城を眺望



信長陣城跡で保全顕彰会の皆さん

S9

お茶教室 (遠州お茶教室、小学生・子ども・幼児の茶道教室)

時期：右記参照

場所：五先賢の館

滋賀県長浜市北野町1386

【問い合わせ先】五先賢の館

■〒526-0272 滋賀県長浜市北野町1386 ■TEL.0749-74-0560 ■FAX.0749-74-0910

■URL <http://www.zd.ztv.ne.jp/gosenken> ■E-mail gosenken@zd.ztv.ne.jp ■担当 佐治寛嗣

- ・遠州お茶教室(毎月第2土曜日)
- ・小学生お茶体験教室(9月)
- ・子ども茶道教室(小、中学生 年間6回)
- ・幼児お茶教室(平成23年3月1・2日 幼児150人 保護者30人)
- ・お茶自主稽古(月1回)

主催：五先賢の館／小堀遠州四酔会

遠州会浅井支部／あざいふれすく2／あざい認定こども園

■お茶を通じて人づくり、地域づくり活動

五先賢の館のご案内

昭和初年から、この地ゆかりの五先賢(相応和尚、海北友松・片桐且元・小堀遠州・小野湖山)の顕彰が行われてきた。この顕彰活動の拠点として、平成8年に開設された施設です。

五先賢や田根の歴史に関する展覧会や講演会を開催する一方、田根地域づくりの運動の拠点としても活用されている。

平成23年は「大河ドラマ・お江」にあわせ浅井家侍女の墓が五先賢の館北200mに位置し、浅井三姉妹軌跡—小谷城脱出一侍女「盛秀」伝説と墓の企画展を開催中です。

遠州流茶席体験をも希望者にさせていただきます。前日までのご予約をお願いします。

当館を研修会や昼食の会場にご利用下さい。(40人まで)

ご来館をお待ち申上げています。



五先賢の館

小堀遠州四酔会のご案内

「春は花に酔い、夏は風に酔い、秋は月に酔い、冬は雪に酔う」。一年を通して郷土の偉大な先人である小堀遠州について楽しく学び、人となりを味わい、そして新たな魅力を掘りお越し、それに酔うことを意図として平成17年に設立しました。小堀遠州の文化はお茶・庭園・建築・陶芸・書道・和歌など多岐で現在でも色あせることなく、わたくしたちの生活の中に生き続けています。地域づくり、人づくりを目標に市民の自主組織を立ちあげ、郷土を愛する心で交わり、感じ学び活動して個々の力を合わせ、将来に向けて大切な地域資源を守り、当地域の文化、歴史を発信し誇りの持てる地域を目指しています。遠州流お茶の普及に茶道教室や出前教室等の活動も行っています。

お茶を日常生活の身近なものと考えて頂ければ幸いです。



お茶教室

K1

宇治田原町 年越し迎春手揉みの見学会

時 期：平成23年12月31日(土)

場 所：永谷宗円 生家

京都府綴喜郡宇治田原町大字湯屋谷小字空広

【問い合わせ先】宇治田原町手揉み保存会

■〒610-0255 京都府

■TEL.090-3288-9115(かなまた茶店・谷口)

■FAX.0774-88-4747

■E-mail QYF13065@nifty.com ■担当 広報 谷口郁男

主催：宇治田原町 手揉み保存会

■日本茶生誕の地、京都永谷宗円生家で年越し手揉み会

日本茶の生みの親、永谷宗円。その生家で大晦日に、年越し手揉み会をします。

2007年、京都府宇治田原町湯屋谷にある永谷宗円生家が改築され、茅葺き屋根や家内の板の間も新しくなりました。囲炉裏も再現されて趣きのある作りに甦りました。この生家において、大晦日紅白歌合戦の始る頃から手揉み茶を始めて、出来上がるのは元旦の未明。その手揉み茶を、隣にある茶宗明神社に奉納し、新しい年のお茶の隆盛を祈願。奉納後には、揉み上げたお茶を淹れてみんなで乾杯いたします。手揉み茶製造の間には、地元の有志の方々によって、温かい飲み物も接待されます。

また数量限定になりますが、揉み上げたお茶の販売もいたします。

日本一早い新茶の味と香りを楽しみたい方は永谷宗円生家へ、大晦日にお集まり下さい。真近くで見えていただけますが、見学会ですので、実際の手揉み体験は出来ません。

大晦日午後9時開始～終了は午前3時ごろ永谷宗円生家への行き方。(軽・普通者のみ)
http://www.geocities.jp/uji_tawara/bunkazai/souen/souen1.html
 冬は雪用タイヤ必携。詳しくは、手揉み保存会にお問い合わせください。

永谷宗円については、宇治田原ふるさと歴史くらぶHPをご覧ください。
http://www.geocities.jp/uji_tawara/migi.html



手揉みの工程半ば



手揉み仕上げの工程



手揉み茶出来上がり

K2

喫茶の魅力さがし（田原の古道）

時 期：平成23年7月30日（土）・31日（日）あるいは8月6日（土）・7日（日）

※日程調整中

場 所：宇治市および宇治田原町（移動をとまう）

【問い合わせ先】喫茶のかたち研究会

■〒259-0113 神奈川県中郡大磯町石神台2-4-1 ■TEL.090-1265-0602 ■FAX.0463-71-3522

■URL <http://sites.google.com/site/teaproperty/> ■E-mail bibibi.takagi@gmail.com ■担当 高木敏宏

主催：喫茶のかたち研究会

シエスタ・インターナショナルアソシエイツ ウィズアクト／宇治田原21お茶のふるさと塾

■ひっそりたたずむ「お茶のかくれ里」で、お茶の美しさに出逢う。

「喫茶の魅力さがし」は、各地にある喫茶の習慣や風習を掘り起こし、喫茶文化の魅力を再発見するプログラムである。その地を訪問し、その魅力を味わうイベントで構成する。

今回のテーマは「お茶のかくれ里」である。白州正子の名著『かくれ里』には、つい足を運んでみたくなる謎の美しさがある。そのひとつに「田原の古道」（宇治田原町）がある。

「丘陵に沿って緑一色の縞模様」を描く茶畑と、「うちの川霧」や「紅葉ふみわけ泣く鹿」の奥山が見事に調和する美しさ。そして、近代茶業を支えた製茶技術が永谷宗圓によりここで生まれて、夏の盛りには京番茶も作られ

る。その暮らしぶりを大切にすゆとり。まさに、魅力あふれるお茶のかくれ里である。

イベントは「田原の古道」を題材に、参加者みずからが、白州正子の視点でお茶を眺めてみようとする趣向で組立てる。喫茶を通し、模索する楽しさと、たたずむような美しさを味わっていききたい。さらに美しさを堪能できる、斬新な茶室コラボも考えている。

イベント概要を記す。参加者との対話を通し内容を組立てるため、概略のみに留める。お盆前の2日間に「田原の古道」をめぐる。主な訪問先は、緑の縞模様である茶畑、猿丸神社や禅定寺、京番茶製茶見学と体験、永谷宗圓生家、他を計画中である。永谷宗圓生家では永谷氏による解説をつける。

4月末から参加者を募集し、詳細は主催者ホームページで案内する予定である。



うちの川霧



京番茶をつくる様子



緑一色の縞模様

K3

宇治田原・お茶摘みと茶歌舞伎体験交流会

時期：平成23年5月8日（日）雨天決行

場所：21お茶のふるさと塾管理茶園

京都府綴喜郡宇治田原町

【問い合わせ先】21お茶のふるさと塾 事務局

■〒610-0253 京都府綴喜郡宇治田原町 ねだ船戸72-1 ■TEL.0774-88-4246 ■FAX.0774-88-2189

■URL <http://21furusatojyuku.web.fc2.com/> ■E-mail BQY11125@nifty.com ■担当 光島善正

主催：21お茶のふるさと塾

共催：宇治田原手揉み保存会／いいとこ案内人の会 後援：宇治田原町

■宇治田原 お茶摘みと茶歌舞伎体験交流会

日本緑茶の発祥地、宇治田原町の21お茶のふるさと塾では、今年もお茶摘み体験交流会を開催します。募集人員100名（超過の場合抽選）茶歌舞伎（お茶当て利き茶ゲーム）や、手揉み茶製法、石臼手挽き茶も体験できます。

希望者の方には有料で「茶摘み娘の衣装」も貸し出します。また、地元の食材を詰め込んだお弁当の販売もいたします（要予約）

まるまる一日、お茶尽くしのイベントで、日本緑茶発祥の地宇治田原をご家族やお友達とご堪能下さい。



楽しい茶摘み風景



ワクワク茶歌舞伎風景

当日スケジュール

受付：午前9時30分から 現地集合

集合場所：21お茶のふるさと塾茶園

京阪バス 役場南バス停下車すぐ

受付後随時お茶摘み開始

途中手揉み茶体験

12時 昼食、後 茶歌舞伎会場に移動

13時 茶歌舞伎、石臼手挽き体験

16時 終了予定

参加費：大人1500円 小中学生800円、小学生未満は無料です。

詳しい問い合わせは、21お茶のふるさと塾事務局に連絡FAX番号を、電話かFAXでお知らせください。応募要項をFAXいたします。

その他、別日程での団体、（学校、会社サークル等）でのお茶摘み体験を受け入れます。（日程、費用 別途相談）



貴重な石臼手挽き体験

K4

城陽茶まつり

時期：毎年10月 第3日曜日

場所：荒見神社

京都府城陽市畠野荒見田165

【問い合わせ先】 城陽市役所 産業活性化室

■〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16・17 ■TEL.0774-56-4005 ■FAX.0774-56-3999

■URL <http://www.city.joyo.kyoto.jp/> ■E-mail sangyo@city.joyo.kyoto.jp ■担当 産業活性化室 西島

主催：城陽茶まつり実行委員会

城陽市／城陽市茶生産組合／城陽市茶華道連盟／城陽茶業青年団

■宇治茶の郷 城陽でお茶にふれあいませんか

城陽市は、宇治茶の産地で全国茶品評会等において農林水産大臣賞を受賞するなど高品質なてん茶を生産しています。

城陽のお茶に親しんでいたくために、城陽のお茶関係者が協働して城陽茶まつりを開催しています。

城陽茶まつりは、市内の荒見神社にて開催され、古式に則った口切りの儀から始まります。

境内では、

- ①抹茶席（有料）、茶そば席（有料）
 - ②お茶のおいしい入れ方教室
 - ③各種茶の展示販売
 - ④城陽産抹茶を使用した、茶そば、生菓子、お菓子の販売
 - ⑤邦楽の演奏
 - ⑥お楽しみ抽選会
- が行われます。

毎年多くの人でにぎわう人気のあるイベントです。皆さんもどうぞお越し下さい。



茶まつりの風景



口切りの儀



邦楽演奏

K5

心和む抹茶ふれあい体験事業

時 期：毎年11月8日（じょうようお茶の日）付近の土・日曜日

場 所：文化パルク城陽 内 寺田コミュニティセンター 茶室 他

京都府城陽市寺田今堀1

【問い合わせ先】 城陽市役所 産業活性室

■〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16・17 ■TEL.0774-56-4005 ■FAX.0774-56-3999

■URL <http://www.city.joyo.kyoto.jp/> ■E-mail sangyo@city.joyo.kyoto.jp ■担当 産業活性室 西島

主催：心和む抹茶ふれあい体験事業実行委員会

城陽市／城陽市茶生産組合／城陽市茶華道連盟／城陽茶業青年団

■城陽のてん茶について学びませんか

城陽市は京都から五里、奈良から五里に位置し、古い歴史を物語る古墳や史跡、寺社があり歴史と文化に富んだ住宅都市です。

豊富な地下水を利用した花ショウブやカキツバタ、カラーなどの栽培、京都府一の生産を誇る青谷の梅、栗より甘いとされる寺田いも、イチジクなどの特産物があります。

また、てん茶は全国茶品評会等において農林水産大臣賞を受賞するなど高品質なてん茶を生産しており、宇治茶の産地としても知られています。

城陽産のてん茶で作った「鶯坂の昔」という抹茶を使用し、市民に本格的な茶室での茶席の体験とてん茶の仕立てから、石臼で抹茶にするまでの体験を行っています。

また、パネル展示によるお茶の成分や製造方法についての説明も行っています。



茶室にて

てん茶の産地であることや、お茶の良さを若い人々に知ってもらえる様、茶関係者が協働して催している心和むイベントです。



パネルを用いた説明



抹茶石臼挽き体験



鶯坂の昔

K6

宇治茶まつり

時期：平成23年10月2日(日) 予定

場所：興聖寺、府立宇治公園中の島(塔の島)及び

宇治市源氏物語ミュージアム等周辺施設 宇治市宇治 宇治川右岸、宇治橋付近

【問い合わせ先】宇治商工会議所

■〒611-0021 宇治市宇治琵琶45-13 ■TEL.0774-23-3101 ■FAX.0774-24-6930 ■E-mail t-furukawa@ujicci.or.jp

■URL <http://www.ujicci.or.jp/>(宇治商工会議所) <http://myroad.ujicci.or.jp/yomimono/chamatsumi/>(宇治茶まつり) ■担当 業務課 古川智博

主催：宇治茶祭奉賛会 共同する団体名：京都府茶業会議所、京都府茶協同組合、京都やましろ農協中宇治支店、宇治市茶生産組合、宇治茶商工業協会、宇治茶製法技術保存協会、宇治市茶業青年会、宇治市、宇治商工会議所、宇治市観光協会、宇治青年会議所、国際ソロプチミスト宇治

■宇治茶まつり

茶どころ宇治に最もふさわしい年中行事宇治茶まつりは、毎年10月第1日曜日の朝から終日、宇治川畔一帯で開催されます。これは、茶の実をわが国に初めて招来した栄西禅師と、宇治に茶園を開いた明恵上人、及び茶道の始祖千利休の3恩人への報恩感謝、兼ねては茶業功労者の遺績を追慕するとともに、併せて宇治茶の隆盛を祈願するためのゆかしい行事です。

当日は午前9時から豊太閤の故事にちなんで、宇治橋三の間からの「名水汲み上げ」に始まり、その名水は興聖寺へ運ばれます。同寺では「茶壺口切り」があり、茶道の千家様による御供茶、栄西禅師開基の京都・建仁寺の読経があります。また、式典後、興聖寺山門横の茶笥塚で、使用済みの茶笥の供養が行われます。

一方、周辺一帯でも種々の催しが実施されます。興聖寺、宇治神社で千家様(表・裏毎年交互)のご奉仕による茶席が設けられるほか、源氏物語ミュージアムで抹茶席、宇治市観光センターで点心席が、また府立宇治公園中の島(塔の島)では、お茶のみコンクール※や抽選会、竹細工・茶染め製品の販売などの模擬店が出され、大勢の観光客や市民でにぎわいます。

宇治茶まつりは、「茶の里 宇治」ならではの行事として親しまれています。

※お茶のみコンクールは「茶香服」を簡略化し一般参加者用にアレンジしたものです。

茶香服は古くから茶の製造業者が品格鑑定のため、茶の形・色・味・香りの優劣を競うために行ったものですが、足利時代には娯楽遊戯として流行し、桃山時代には千利休が茶の湯とともに取り入れ、茶の余技として行われた歴史ある催しです。



名水汲み上げの儀



茶壺口切の儀

K8

京都宇治 和束茶フェア

時期：平成23年5月1日(日)～6月30日(木)

場所：リーガロイヤルホテル東京／京都／大阪／堺

所在地下記参照

【問い合わせ先】和束町雇用促進協議会

■〒619-1222 京都府相楽郡和束町白樺大狭間35 ■TEL.0774-78-4180 ■FAX.0774-78-4180

■URL <http://www.wazuka-chagenkyo.jp/> ■E-mail kimura@chagenkyo.com ■担当 木村宣

主催：和束町

(株)ロイヤルホテル(リーガ東京・リーガ京都・リーガ大阪・リーガ堺)／和束町商工会／和束町雇用促進協議会

■京都宇治 和束茶フェア

今年で7年目となる和束町とリーガロイヤルホテルのコラボレーション企画『京都宇治和束茶フェア』が5月1日(日)から6月30日(木)の期間、リーガロイヤルホテル東京・京都・大阪・堺の4ホテルで同時開催されます。

フェアでは、リーガロイヤルホテルの各ホテルのシェフやパティシエが趣向を凝らし創作した多彩なメニューをご用意しています。優しい甘味と清々しさが特徴の和束茶を使った、季節感たっぷりの料理やスイーツ、ドリンクを楽しむことができます。この機会に是非ご堪能ください。

また、ゴールデンウィークには、八十八夜イベントとして、ロビーにて摘み立て新茶のふるまいをいたします。

開催場所

リーガロイヤルホテル東京

東京都新宿区戸塚町1-104-19

リーガロイヤルホテル京都

京都府京都市下京区東堀川通り塩小路下ル松明町1

リーガロイヤルホテル大阪

大阪府大阪市北区中之島5-3-68

リーガロイヤルホテル堺

大阪府堺市堺区戎島町4-45-1



▲和束茶ランチ(2010年5月メニュー)
出典：リーガロイヤルホテル京都

▲和束茶を使ったスイーツ(2010年)
出典：リーガロイヤルホテル東京



京都府景観資産登録第1号①

出典：和束町



京都府景観資産登録第1号②

出典：和束町

K9

憧れの京物 —宇治茶のティーライフをお楽しみください—

時 期：通年

場 所：福寿園京都本店・福寿園宇治茶工房・福寿園宇治茶菓子工房
福寿園CHA研究センター・福寿園資料館

【問い合わせ先】株式会社福寿園

■〒619-0295 京都府木津川市山城町上狛東作り道11 ■TEL.0774-86-4248 ■FAX.0774-86-3902

■URL <http://www.fukujuen.com> ■E-mail nobuyuki_murai@fukujuen.com ■担当 村井

■お茶の歴史から未来までの体感施設

世界銘茶の最高峰といえる宇治茶と京菓子・茶器などのコラボレーションを、弊社の施設でご見学・ご体験ください。

●京都本店 <現代を生きる>

京都にある素晴らしい伝統の技を、茶という命題で結集し、フランス料理のレストランも取り入れ、京物に新しい息吹を生み出しています。



福寿園京都本店前を通る祇園祭山鉦巡行
／京都府京都市下京区四条通露小路角

●CHA研究センター <未来をひらく>

土づくりから世界のティーライフまでを学んでいただけます。※要予約



福寿園CHA研究センター／京都府木津川市相楽台3-1-3

●宇治茶工房 <伝統を伝える>

お茶づくりや茶料理をお楽しみいただけます。

●宇治茶菓子工房 <茶菓子をつくる>

宇治茶銘菓「宇治のみどり」をお楽しみいただけます。



福寿園宇治茶工房／京都府宇治市宇治山田10
福寿園宇治茶菓子工房／京都府宇治市宇治蓮華35

●資料館 <歴史を伝える>

古の茶作りについての資料を展示しています。

※期間限定 要予約



福寿園資料館／京都府木津川市山城町上狛東作り道11

K10

平成23年度「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」

時期：平成23年5月2日（月）午前9時30分～午後3時

場所：（第1会場）宇治茶会館及び京都府茶協同組合茶業センター茶園 京都府宇治市宇治折居25
（第2会場）京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所 京都府宇治市白川中ノ園1

【問い合わせ先】社団法人京都府茶業会議所

■〒611-0021 京都府宇治市宇治折居25-2 ■TEL.0774-23-7713 ■FAX.0774-23-9651

■URL <http://www.ujicha.or.jp> ■E-mail info@ujicha.or.jp

主催：社団法人京都府茶業会議所
京都府茶生産協議会／京都府茶協同組合

■茶摘み体験をしてみませんか？「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」

5月2日（月）に宇治茶づくしのイベント「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」を開催します。

例年「宇治新茶・八十八夜茶摘みの集い」は立春からかぞえて、八十八日にあたる日に、開催し、新茶の訪れをみなさまにお届けします。

玉露園と煎茶園での茶摘み体験や、日本茶インストラクターによるお茶の淹れ方教室（有料）、ホットプレートによる簡単な製茶体験（有料）など多彩な催しを予定しています。

ほかにも宇治茶の無料接待及び販売、ふるさと産品展示即売会も。また、普段はなかなか見ることのできない「茶の木人形」の展示や宇治茶製法による手もみ製茶実演、製茶工場の見学もあります。

入場無料。先着1,000名様にはオリジナル茶さじをプレゼント。当日は京阪宇治・JR宇治駅より無料シャトルバスも運行します。

新茶の季節、みなさまのお越しをお待ちしています。



玉露園の茶摘み体験



ホットプレートによる簡単な製茶



日本茶インストラクターによるお茶の淹れ方教室



宇治茶製法による手もみ製茶実演

K11

宇治茶の郷づくり協議会の取組

時期：通年

場所：宇治茶会館、JR奈良線主要駅、京都山城地域、京都府内、他

【問い合わせ先】宇治茶の郷づくり協議会

■〒611-0021 京都府宇治市宇治折居25-2(社)京都府茶業会議所内 ■TEL.0774-23-7713 ■FAX.0774-23-9651
 ■URL <http://www.ujicha.or.jp> ■E-mail e-kiwayama@ujicha.or.jp ■担当 (社)京都府茶業会議所 極山映一

■宇治茶の郷づくり協議会の取組

宇治茶を通じた和の文化の継承と「お茶する生活」の実現を目指し、日本の宝である「宇治茶」を単に産業面だけでなく、歴史、文化、観光、福祉、教育など様々な分野と連携を進め、京都山城地域を宇治茶に感動体験できる世界一の宇治茶の郷にしていくことを目的に、平成19年2月、茶業関係団体と行政が一体となって「宇治茶の郷づくり協議会」を設立。宇治茶を体験し、宇治茶と京都山城地域の魅力を再発見していただくための様々な取組を行っています。

【宇治茶の郷づくり協議会 会員】

(社)京都府茶業会議所、京都府茶協同組合、京都府茶生産協議会、JA京都やましろ、日本茶インストラクター協会京都府支部、京都府茶業連合青年団、京都府山城広域振興局、宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原町、木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村



お茶の淹れ方教室と宇治茶カフェ認定



【主な取組】

◆おいしい宇治茶が飲める「宇治茶カフェ」の認定◆「宇治茶の淹れ方教室」の実施◆山城地域の宇治茶に関係する資源や取組を紹介する「宇治茶歴史街道」の設定と活用◆「宇治茶の郷」と刻した石碑の設置推進◆「宇治茶の郷ウォーク」の実施、◆宇治茶の魅力を広く発信する「宇治茶フェスタ」の実施◆情報誌「宇治茶の郷通信」の発行など。



宇治茶歴史街道マップ



宇治茶の郷ウォーク

写真出典：宇治茶の郷づくり協議会

①

第26回 国民文化祭・京都2011「大茶会」

時期：平成23年10月29日(土)～11月6日(日)

場所：大徳寺塔頭、東本願寺涉成園(枳殻邸)、
南禅寺塔頭、京都府立植物園、綾部大本本部他

【問い合わせ先】第26回国民文化祭京都府実行委員会

■〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西人数ノ内町(京都府庁) ■TEL.075-414-4272 ■FAX.075-414-5137

■URL <http://kokubunsai-kyoto2011.jp> ■E-mail kokubunsai@pref.kyoto.lg.jp ■担当 前田

主催：文化庁／京都府／京都府教育委員会／第26回国民文化祭京都府実行委員会

■日本最大の文化の祭典で 日本文化の粋すいに触れる「茶」体感！

国民文化祭・京都2011の大会テーマ「こころを整える～文化発心」のもと、人間同士のつながりを大切にしながら心を通わせることに重きを置く独自のおもてなし文化を形成

し、今日まで伝えてきた「茶」に関する文化を通じ、京都の歴史や暮らし、精神文化に触れていただく茶会を開催する。

■日本文化の粋に触れる茶会■

京都でしか触れることのできない茶道の高い精神性を体感。

事業名	開催日	会場	内容
京都大徳寺茶会	10月29日(土)・30日(日)	大徳寺塔頭	表千家、裏千家、武者小路千家、藪内家による本格的なお茶会
綾部大本茶会	10月29日(土)	綾部「大本本部」	裏千家淡交会両丹支部ほかによるお茶会
東本願寺涉成園(枳殻邸)茶会	10月30日(日)	東本願寺涉成園(枳殻邸)	全日本煎茶道連盟の3流派による煎茶のお茶席(二條流、方円流、瑞芽庵流)
南禅寺茶会	11月5日(土)・6日(日)	南禅寺塔頭	京都煎茶家元会の6流派による煎茶のお茶席(瑞芳庵流、貴茶本流、皇風煎茶禮式宗家、煎茶道泰山流、玉川遠州庵、小川流煎茶)

■府民・国民一人ひとりが主役の茶会■

豊臣秀吉が開いた「北野大茶湯」のように、誰もが自由に参加でき、楽しむことができる茶会を開催。

事業名	開催日	会場	内容
植物園大茶湯	11月3日(木・祝)	京都府立植物園	全国から席主(亭主)を募集し、様々な形の茶席を賑やかに催し、気軽に幅広く世界の「茶文化」に触れる機会とする

■国民文化祭に参加する人たちをもてなす茶席■

京都国文祭各会場で、全国からの参加者、出演者等をもてなす茶会を開催

この機会に様々な「茶」に触れて来てください。

詳しくは、京都国文祭ホームページまで。

京都国際PR隊長
「まゆまる」



2

第26回国民文化祭・京都2011 「はじめてのお茶とお香」

時期：平成23年11月5日(土)～6日(日)

場所：八坂俱樂部、建仁寺塔頭（久昌院、西来院、禅居庵）

八坂俱樂部：京都市東山区祇園町南側570-2 / 建仁寺塔頭：京都市東山区大和太路通四条下る小松町

【問い合わせ先】第26回国民文化祭京都市実行委員会事務局

■〒604-8006 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町394 Y・J・Kビル2階 ■TEL.075-366-1496 ■FAX.075-213-4105

■URL <http://www.kyotocity-kokubunsai.jp/> ■E-mail kokubunsai@city.kyoto.jp ■担当 西村

主催：第26回国民文化祭京都市実行委員会

文化庁、京都府、京都府教育委員会、京都市、京都市教育委員会、(社)表千家同門会、(社)茶道裏千家淡交会、(社)全日本煎茶道連盟、(財)お香の会、第26回国民文化祭京都市実行委員会

■興味発見！ ころも体感！

平成23年10月29日(土)～11月6日(日)の9日間、京都府内各地で開催される国内最大の文化の祭典、「第26回国民文化祭・京都2011」における京都市主催事業として実施します。

京都の春の風物詩である「都をどり」の会場でもある祇園甲部歌舞練場に隣接する八坂俱樂部では初心者の方でも気軽に参加していただける、各種体験型のお茶席やお香席、展示、ワークショップなど、多彩な催しを実施します。また、建仁寺塔頭寺院では、京都らしい風情溢れる会場でのお茶席及びお香席をお楽しみいただけます。

是非、この機会に日本の四季折々の暮らし

の中で培われてきた、茶道、煎茶道及び香道のところと楽しさに触れ、体感してください。



八坂俱樂部外観



まゆまる

01

Picnic ! (野点・野掛)

時期：検討のうえ随時

場所：未定

未定

【問い合わせ先】 シエスタ・インターナショナル・アソシエイツ・ウィズ・アクト (株式会社 アクト)

■〒587-0022 大阪府堺市美原区平尾2392 ■TEL.072-361-1169 ■FAX.072-361-9318

■URL <http://www.acto-ltd.jp/> ■E-mail t-yabuta@acto-ltd.jp ■担当 藪田忠之

主催：シエスタ・インターナショナル・アソシエイツ・ウィズ・アクト
喫茶のかたち研究会

■文化をもっと身近に・・・

文化・日常においてとにかく格式ある言に感じる。多忙な日々においてそれらに触れる機会が無いといえれば無い。見えないといえれば見えない。が、興味は多少なりとも必ずあるはずである。

今回のテーマ「Picnic」

老若男女問わず気軽に文化に触れてもらう、そんな雰囲気味わって貰えるように、モダンなフォルムにもどこか懐かしい雰囲気を感ずることの出来る(2畳の和の空間)と庭アイテムを作成。対話を楽しむ空間であり、お茶(喫茶)、軽食を楽しむ空間を様々なイベントに参加・コラボレーションさせてもらいながら、日本文化のさわりを体感して貰いたい。

あえて「Picnic！」

(日本語の古語では野掛けという。

そこに野点を勝手ながら付け加えさせてもらい、今回は「Picnic！」)

様々な各団体と意見交換、コミュニケーションを取らしていただきながら、今回のイベントを盛り上げていきたい。



茶お茶イベント



夜に光る庭アイテム

02

第38回「堺まつり」利休のふるさと堺大茶会

時期：平成23年10月15日(土)・16日(日)

場所：①南宗寺会場 ②大仙公園会場

①堺市堺区南旅籠町東3 ②堺市堺区百舌鳥夕雲町2-204

【問い合わせ先】社団法人 堺観光コンベンション協会

■〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市役所内 ■FAX.072-233-5258

■URL <http://www.sakai-tcb.or.jp/> ■E-mail nagata@sakai-tcb.or.jp ■担当 永田直次

主催：社団法人 堺観光コンベンション協会

■第38回「堺まつり」 利休のふるさと堺大茶会

堺まつりは、偉大な先人が築いてきた歴史文化を継承し、堺の魅力を広く内外に情報発信する本市最大の観光集客イベントです。その一環として開催する「利休のふるさと堺大茶会」は、堺で生まれた千利休により大成された茶道文化を伝承し、茶の湯を身近に体験していただくことにより、市民や観光客を温かくおもてなしすることを目的に開催しています。

大茶会の主な内容は次のとおりです。

- ①三千家（表千家・裏千家・武者小路千家）が、利休ゆかりの南宗寺とその山内さんないにおいて、本席・野点席を開催。三千家が一堂に会して行われる茶会は日本では唯一、堺大茶会ならではの催しです。



南宗寺茶席

- ②仁徳天皇陵古墳などに隣接する大仙公園では、市内の幼稚園児や大学生の茶道部員が茶の湯を開催すると同時に、堺市茶室「仲庵」にて煎茶席を開催します。また、会場

の雰囲気盛り上げるため、茶の湯文化とともに歩んできた堺市内の和菓子の販売や、琴・尺八による箏曲の演奏、いけばな無料体験も開催します。



大仙公園茶会風景



大仙公園茶会風景

利休により大成された茶の湯文化は400年の歴史を経て、今では国際性のある文化として世界的にも知られるようになってきました。堺大茶会を通じて、茶の湯文化の多様な情報を国内外に発信し、「茶の文化」にまつわる資源ネットワークの形成や、圏域の集客増進と活性化に寄与してまいります。

03

老舗のお茶工場見学

時期：平成23年4月19日(火)

場所：(株)つぼ市製茶本舗 第二工場

大阪府高石市高師浜丁4-8

【問い合わせ先】(株)つぼ市製茶本舗

■〒592-0004 大阪府高石市高師浜1-14-18 ■TEL.072-261-7181 ■FAX.072-263-5580

■URL <http://www.tsuboichi.co.jp/> ■E-mail t-jun@sa2.so-net.ne.jp ■担当 徳尾野

主催：(株)つぼ市製茶本舗

■老舗のお茶工場見学

つぼ市製茶本舗は、利休のふるさと堺で嘉永三年に創業した製茶メーカーです。「お茶と、人と、人と。」というブランドスローガンのもと、やすらぎ、和、健康を日々のお茶のある暮らしの中で提供することに努めてきました。

つぼ市の工場は、お茶の生産されない地域では恐らく唯一の垂直統合された製造ラインを持つ工場で、茶の仕上げからパッケージングにいたるまでの工程をご覧いただくことができます。普段お飲みになっているお茶が、どのような場所で、どのような手順を経て作られているのかを、この機会に是非ご覧ください。

また、工場見学の後、お茶についての色々な話(種類・効能・歴史など)をさせていただいたり、お茶の美味しい淹れ方を実演させていただきたいと考えております。皆様にお茶の色や、香り、味をみて、良し悪しをあて

ていただく聞き茶会もする予定ですので、楽しくお茶についての知識を深めていただくことができると思います。

日時：平成23年4月19日(火) 13:00～16:00

場所：つぼ市 第二工場

大阪府高石市高師浜丁4-8

(南海本線北助松駅より西へ徒歩10分/駐車場あり)

内容：お茶製造工場見学

お茶の話(種類、効能、歴史など)

お茶の淹れ方教室・聞き茶会

※お申し込みは、以下まで、お名前・お電話番号を記入の上、メールでお願いします。

(株)つぼ市製茶本舗 t-jun@sa2.so-net.ne.jp

件名：「工場見学申し込み」

※会場の都合上、人数を制限させていただいております。申し込み多数の場合は、抽選になりますのでご了承ください。結果はメールの返信でご連絡させていただきます。



工場見学での説明



製造ライン見学



お茶の淹れ方教室

04

山本能楽堂による体験講座・見学会

時期：下記参照

場所：山本能楽堂(国登録有形文化財)

大阪市中央区徳井町1-3-6

【問い合わせ先】公益財団法人 山本能楽堂

■〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-3-6 ■TEL.06-6943-9454 ■FAX.06-6942-5744

■URL <http://www.noh-theater.com> ■E-mail info@noh-theater.com ■担当 山本佳誌枝

主催：公益財団法人 山本能楽堂

■「たにまち能」、「まっちゃまちサロン」、「初心者も楽しい・能体験講座」、「山本能楽堂見学会」、「海外からのお客様に向けた能体験講座/茶道体験」など

大阪・谷町にある山本能楽堂は80年以上の歴史を持つ大阪で一番古い能楽堂であり、能楽の公演や多彩な上方伝統芸能を気軽に楽しくお楽しみ頂く事ができます。昭和2年に創設され戦災にあい焼失した能楽堂は、昭和25年に船場の旦那衆により再建され、「谷町の能楽堂」として現在まで多くの方に愛されてきました。

平成18年に国の文化審議会より国登録有形文化財の指定を受けた能楽堂の2階には、茶室があり、創設者の山本博之は茶を嗜み、ここから能舞台を拝見するのを何よりの楽しみにしていました。現在も、山本能楽堂では、「たにまち能」「まっちゃまちサロン」などの公演時にはお抹茶とお菓子をお楽しみ頂くことができ、茶の文化とユネスコ世界無形遺産の能楽という二つの日本の伝統文化を通して、広く日本人の「おもてなしの心」を訪れて頂

いた皆様を感じていただければと思っております。

開催時期

「たにまち能」

平成23年5月1日、5月29日、7月3日、9月4日、12月4日

「まっちゃまちサロン」

3月7日、4月4日、5月5日、6月6日、以降毎月第一月曜日開催

「初心者も楽しい・能体験講座」「山本能楽堂見学会」

「海外からのお客様に向けた能体験講座/茶道体験」

に関しては通年事業



扉を開けると周りの喧嘩からは想像できない静謐な能楽堂があります。



茶道体験もできます。



外国人の方も気軽にお茶をお楽しみ頂いております。2階には茶室があります。



05

山上宗二忌

時期：平成23年4月10日(日)

場所：天慶院(南宗寺内・本源院手前)

大阪府堺市堺区南旅籠町東3-1-2

【問い合わせ先】(株)つぼ市製茶本舗

〒592-0004 大阪府高石市高師浜1-14-18 ■TEL.072-261-7181 ■FAX.072-263-5580

■URL <http://www.tsuboichi.co.jp/> ■E-mail t-jun@sa2.so-net.ne.jp ■担当 徳尾野

主催：堺衆文化の会

(株)つぼ市製茶本舗

■山上宗二忌 法要・講演会・茶会

堺生まれの桃山時代の大茶人、山上宗二。茶聖千利休に30年間、茶の湯を学んだこの大茶人は、茶の精神などを「山上宗二記」に記したことで知られています。「山上宗二記」は秘伝書として、また、堺衆の「侘び茶」を論じる上で、現在、非常に貴重な資料となっています。

ところが、作者である宗二本人は、豊臣秀吉の怒りをかい、天正18年(1590年)46歳で亡くなりました。

2007年4月、堺衆文化の会の会長である谷本陽蔵(株)つぼ市製茶本舗・会長)が「大きな功績を残しながら不遇だった宗二に墓が無く、地元で碑もないのは悲しい」と南宗寺(天慶院：旧千利休墓地)に供養塔を建立しました。これを機に、以後、堺衆文化の会では、毎年、宗二の法要と茶会等を営んでいます。

本年は、法要に加え、静岡文化芸術大学

長で茶の湯についての研究・評論活動で知られる熊倉功夫氏の講演会及び茶会も行います。是非、多数のご参加をお待ちしております。

日時：2011年4月10日(日)13:00~17:00

場所：天慶院(南宗寺内・本源院手前)

内容：・山上宗二法要

- ・熊倉功夫氏ご講演「堺の茶の湯文化(仮)」
- ・鼎談(熊倉功夫氏・角山榮氏・谷本陽蔵氏)
- ・茶会

参加費：3000円

申込み方法：お名前、住所、電話番号を記載の上、葉書にて以下までお申し込みください。

〒594-0023 和泉市伯太町1311-31 森村健一宛



山上宗二供養塔



本源院



本席

06

特別番組

『「茶文化」～おもてなしの心を育む「茶」～(仮題)』

- 配信・放映【チャンネル】 K-CAT eo光チャンネル(関西全域):42万7千世帯
K-CAT チャンネル(枚方近隣5市):13万5千世帯 ※平成23年1月末現在
- 【時期】 平成23年6月頃から1ヶ月間(毎日1回)
- ウェブ配信【URL】 大阪21世紀協会ホームページ(<http://www.osaka21.or.jp/>)
- 【時期】 平成23年7月以降
- 【問い合わせ先】 財団法人 大阪21世紀協会
- 〒530-0032 大阪市中央区天満橋京町1-1 大阪キャッスルホテル4階 ■TEL.06-6942-2006
- URL <http://www.osaka21.or.jp/> ■E-mail hirosey@osaka21.or.jp ■担当 広瀬

企画：財団法人 大阪21世紀協会

制作/著作：株式会社ケイ・キャット

■ 関西の魅力再発見！「茶文化」の歴史を辿る特別番組をシリーズで制作・配信！

わが国で最も親しまれている飲物の一つである「お茶」は、遣唐使の時代に大陸から薬として渡来し、僧侶や貴族の間で大変珍重され、戦場では気付け薬としても使われていました。その後、時代が進むにつれて、武家社会では「茶の湯」へと発展し、さらに広く生活に溶け込む中で、「茶文化」として関西を中心に花開いていきました。

「茶文化」が育んだ嗜みや作法といった日本独自の「おもてなしの心」も、こうした背景からすると、そのルーツは関西にあると言えます。

「おもてなしの心」は、いまや日本らしさの象徴として、サービス、産業技術、生活デザインなど、さまざまな分野にも活かされています。

そこで、今なお、われわれの生活文化に深く根づく「茶」をテーマに、その歴史やおもてなしの精神などについて紹介する特別番組(各4分/3回シリーズ(予定))を制作・放映いたします。



◀ 関空ウエルカムビジョンー関西の紹介映像を流しています
出典：財団法人 大阪21世紀協会

<特別番組>

『茶文化』～おもてなしの心を育む「茶」～(仮題)

【第1回】

「茶の普及」～葉から嗜好品へ～

【第2回】

「宇治茶」～全国に轟く高級ブランドへ～

【第3回】

「茶文化」～おもてなしの心へ～

※番組のタイトルやシリーズ回数については、変更の可能性もございますので、ご了承下さい。

その他、国内外からの旅行者に対して、関西の魅力を広く知ってもらうために、関西国際空港(国際線到着の手荷物引渡し場所)にて、関西の景観や風物、見どころを紹介する映像を流しており、本年秋以降は『「はなやか関西～文化首都年」茶の文化』事業の映像を取り込んだコンテンツを制作予定です。

07

伝統体験講座「池田炭づくりと茶の湯」

時期：平成24年1月～3月

場所：池田市カルチャープラザ、豊能町牧クヌギ林、
豊能町切畑下西炭焼き窯

【問い合わせ先】NPO法人 シニア自然大学校菊炭クラブ

■TEL&FAX.06-6438-4012 ■E-mail k-takagi@paw.hi-ho.ne.jp ■担当 高木 一宇

主催：NPO法人 シニア自然大学校
池田市立カルチャープラザ

■伝統体験講座「池田炭づくりと茶の湯」

日本が世界に誇る伝統文化「茶の湯」と北摂の名産池田炭とは古くから密接な関係がある。

1595年には豊臣秀吉が久安寺（池田市）で観月の茶会を催し池田炭を賞用している。また茶聖千利休も切り口が菊の花のように美しい池田炭（菊炭）を愛用し、それらしい池田炭は最高の茶の湯炭と呼ばれている。

一方、池田炭の切り口の菊模様は里山で育てられた炭焼き原木クヌギによってもたらされ、クヌギでなければ完璧な菊模様は形成されない。このようにクヌギ里山林と池田炭と茶の湯とは三位一体に繋がっており茶の文化を形成している。

現在池田炭はクヌギ里山林の荒廃と炭焼き職人の後継者不足から衰退の道を歩んでいる。里山文化とそれに繋がる茶の湯文化これら伝

統文化の火を消してはならない。

この体験講座ではクヌギの伐採から始まる原木づくり体験と池田炭の炭焼き体験と茶の湯体験とを通じて伝統の茶の文化を体験する。

さらに池田炭の歴史と危機的な現状を学ぶ。これにより、池田炭に対する理解を深め池田炭を振興する活動の輪の広がりにつなげる。

- 講座カリキュラムは次の通りである。
- ①開講式、講義「北摂の里山林と池田炭」
 - ②クヌギ里山林における原木づくり体験2回
 - ③炭焼き体験 原木の窯入れ
 - ④炭焼き体験 炭の窯出し
 - ⑤茶の湯体験、修了式



茶の湯体験



クヌギ林における原木づくり体験



炭焼き体験 原木の窯入れ

08

万博日本庭園茶室で「お茶」の世界へショートトリップ

時 期：平成23年4月～平成24年3月

場 所：万博記念公園 日本庭園 茶室「千里庵」「汎庵」「万里庵」
吹田市千里万博公園9-2

【問い合わせ先】茶室「千里庵」

■〒565-0826 吹田市千里万博公園9-2 ■TEL06-6864-9155

■URL <http://senrian.com> ■E-mail info@senrian.com ■担当 前嶋貴子

主催：茶室「千里庵」

独立行政法人日本万国博覧会記念機構

■「お茶」がつくりだす非日常の世界へ…

お茶を介して「おもてなしの心」に触れ、茶庭に溢れる「和」の文化を感じる。日常生活ではなかなか味わえない、そんな非日常空間を、ここ万博記念公園の茶室「千里庵」、「汎庵」、「万里庵」では気軽に体験することができます。茶道の知識もお道具も不要。どなたでもお楽しみいただけるよういろんな体験コースがあり、それぞれスタッフが丁寧に説明いたします。

1970年の日本万国博覧会当時、茶道各流派が「千里庵」では一般の方を、「汎庵」、

「万里庵」では外国からの来賓をお茶で接待しました。それらの接待をとおして日本の伝統文化と「おもてなしの心」を世界に発信していました。現代の日常生活においても、「お茶」を飲みながらのおしゃべりは楽しくて心弾むもの。時代に関係なく愛され続ける「お茶」のつくり出す空間を、いつもとちょっと違うかたちで楽しんでみませんか？「お茶」がつくりだす非日常でのおしゃべりは、きっといつもより楽しくなるはずです。



新緑の季節の汎庵



汎庵の大広間



お点前体験



千里庵での呈茶

09

みんげい

民藝と茶 (秋季特別展「民藝運動の巨匠たち—濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功」に併設)

時期：平成23年9月10日(土)～12月20日(火)

場所：大阪日本民芸館

大阪府吹田市千里万博公園10-5

【問い合わせ先】大阪日本民芸館

■〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園10-5 ■TEL.06-6877-1971 ■FAX.06-6877-1973

■URL <http://www.mingeikan-osaka.or.jp/> ■E-mail onmkoho@trad.ocn.ne.jp ■担当 佐藤響子

主催：財団法人大阪日本民芸館

独立行政法人日本万国博覧会記念機構

■「民藝スタイル」の茶の世界に触れる

大正時代末期から、柳宗悦(1889-1961)らが興した「民藝運動」は、民衆が伝統的に用いてきた雑器などの日常品に美を見出そうとする運動でした。

茶道に深い関心を抱いていた柳は、自ら収集した日本民芸館(東京)の所蔵品を用いて、昭和30・31年に「民芸館茶会」を開催します。そこでは名も無い民衆の作った道具が使われたほか、英国製の椅子やピッチャーを用いるなど、従来の茶事にはない斬新な選択がなされました。

今回の展示では、大阪日本民芸館の所蔵品から、茶に関する道具を70点程度展示いたします。人間国宝の濱田庄司(1894-1978)や河井寛次郎(1890-1966)ら民藝運動を牽引した巨匠たちの茶器のほか、収集に努めてきた新作の中から、茶碗など茶に関する作品をご紹介します。また、柳が茶会で用いたものと同様の霰釜や、壁面を飾った城模様の久留米絨、絵絨屏風などの古作もあわ

せてご覧頂きます。さらに、当時の「民芸館茶会」の様子なども写真でご紹介いたします。

「民藝スタイル」の茶の世界に触れたいと思います。関連イベントとして、以下の講演会を開催いたします。

演題：「茶の湯と民藝」

講師：熊倉功夫^{いさお}氏(静岡文化芸術大学学長・国立民族学博物館名誉教授)

日時：12月18日(日)

13:30～15:00(13:00開場)

会場：国立民族学博物館・講堂

定員：450名(※要予約)

聴講料：無料(民芸館入館料が別途必要)

聴講希望の方は、大阪日本民芸館友の会事務局(06-6877-1971)までお電話でお申し込み下さい。

あわせて、同時開催の特別展「民藝運動の巨匠たち—濱田庄司・河井寛次郎・棟方志功」もどうぞご覧下さい。



濱田庄司 茶碗



河井寛次郎 茶碗

H2

第30回須磨大茶会

時期：平成23年4月29日（金）

場所：須磨寺および寿楼

兵庫県神戸市須磨区須磨寺町

【問い合わせ先】財団法人 神戸国際観光コンベンション協会

■〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1 神戸国際交流会館7階 ■TEL.078-303-1010 ■FAX.078-302-2946

■URL <http://feel-kobe.jp> ■E-mail terukazu_ohno@kcva.or.jp ■担当 大野照和

主催：須磨大茶会運営協議会

■第30回須磨大茶会

須磨大茶会は、どなた様も気軽に参加できる市民茶会として昭和55年より開催しています。

今年は第30回の節目を迎え、表千家、裏千家、照浪庵小笠原流煎茶による3席で開催します。

また、関連行事として、須磨琴演奏会を行います。須磨琴の歴史は、今から一千百余年の昔、中納言在原平平助が、須磨の地に流されたとき、渚で拾った板切れに冠の緒を張って琴を作り、岸辺の葦の茎を爪にして、その琴を弾じながら、はるか都を偲び、自らの寂寥を慰めたのが始まりと伝えられており、会場では素敵な音色をお楽しみいただけます。

須磨寺周辺の「源平ゆかりの地」は、源平合戦をはじめ、松風村雨の伝説や源氏物語など、さまざまな舞台となっており、新緑の薫る時期にお茶会与併せて歴史の香り溢れる個性豊かな史跡を散策してみませんか。



須磨寺本坊席



寿楼臨水亭席



須磨寺



須磨琴演奏会

H4

大国寺と丹波茶まつり

時期：平成23年6月4日(土)・5日(日)

場所：茶の里会館、大国寺周辺

兵庫県篠山市味間奥周辺

【問い合わせ先】 大国寺と丹波茶まつり実行委員会事務局 篠山市役所農創造部観光課

〒669-2397 兵庫県篠山市北新町41 ■TEL.079-552-1111 ■FAX.079-552-2090

■URL <http://tourism.sasayama.jp/> ■E-mail kanko_div@city.sasayama.hyogo ■担当 岸本

主催：大国寺と丹波茶まつり実行委員会（味間奥自治会）

共同する団体名：篠山市商工会／丹波ささやま農業協同組合／丹波篠山観光協会

■丹波の茶どころ・庭園の里 味間

兵庫県内随一の茶どころとして有名な兵庫県篠山市味間地区。新茶の香り漂う6月上旬、同地区を会場に「大国寺と丹波茶まつり」が盛大に開催されます。

味間地区の茶畑は、標高200メートルの丹波高原山峡の数少ない平地の茶畑で、兵庫県下の茶栽培面積の3分の1以上を占めています。丹波篠山は昼と夜の気温差が大きく、濃い霧に覆われることから陽光のあたりが程よく、まろやかな甘みと程よい渋みのお茶が楽しめます。

まつり当日には、直径約30センチの大茶碗で新茶を飲む「大茶盛」や、大国寺に新茶を献上する「丹波茶壺道中」「子ども茶壺道中」のほか、煎茶・抹茶のお茶席、茶摘み・手揉み体験など、名産の丹波茶に関連する行事が盛りだくさんで、野外ステージでは、地元ならではの手づくりイベントが行われ、新緑の香りとともに、梅雨前のすがすがしい1日を楽しむことができます。



茶摘風景

また、普段は公開されていない大国寺本堂内の薬師如来坐像を含む5体の仏像（国指定重要文化財）の特別公開も行われ多くの人出で賑わいます。



丹波茶壺道中



直径約30センチの大茶碗で新茶を飲む「大茶盛」



新緑の大国寺

H5

第62回 豊公を偲ぶ有馬大茶会／瑞宝寺公園もみじ茶会

時 期：①第62回 豊公を偲ぶ有馬大茶会 11月2・3日
 ②瑞宝寺公園もみじ茶会 11月11日～23日の金・土・日・祝日

場 所：①有馬グランドホテル雅中庵、念仏寺、瑞宝寺公園 ②有馬温泉 瑞宝寺公園 神戸市北区有馬町内の各地

【問い合わせ先】 社団法人 有馬温泉観光協会

■〒651-1401 神戸市北区有馬町790番地3 ■TEL.078-904-3450 ■FAX.078-904-1888

■URL <http://arima-onnsen.com> ■E-mail wada-yasuji@sage.ocn.ne.jp ■担当 和田耕次

主催：社団法人 有馬温泉観光協会温泉

裏千家淡交会 神戸・阪神・大阪東支部／NPOありま(有馬婦人会)・福祉センター茶道部・有馬検番

「第62回 豊公を偲ぶ有馬大茶会」

太閤秀吉公は度々千利休を伴って有馬においてになり茶会を催されました。その故事にのっとり昭和25年から「豊公を偲ぶ有馬大茶会」として開催し、本年は62回目となります。

裏千家淡交会の方々のご奉仕により盛大に開催されます。

「瑞宝寺公園もみじ茶会」

一日中見ても見あきないので「日暮らしの庭」と言われる瑞宝寺公園で、多くの方にお茶の雅を味わって頂こうとの趣旨で行う野点の茶会。

有馬温泉の地元の団体の協力で開催されます。



有馬大茶会 瑞宝寺公園席



有馬大茶会 瑞宝寺公園席



瑞宝寺公園もみじ茶会

N1

「やまと郡山百景」お茶の文化探訪

時期：平成23年6月18日(土)・11月8日(火)／平成24年2月19日(日)

場所：大和郡山市、慈光院・尾川・本家菊屋

大和郡山市内

【問い合わせ先】大和郡山市観光協会

■〒639-1132 大和郡山市高田町92-16 ■TEL.0743-52-2010 ■FAX.0743-52-2322

■E-mail kankou@m3.kcn.ne.jp ■担当 大和郡山市観光協会（山下正樹）

主催：やまと郡山環境を良くする市民の会 後援：国土交通省、大和郡山市

協賛：慈光院、大和郡山市観光協会、大和郡山市観光ボランティアクラブ

■講演会・茶席菓子展・お茶席・懐石料理など

一般市民・茶道愛好家などを

対象にしたイベント

平成20年3月「やまと郡山百景」を選定、その中の茶の文化について探訪します。

第1回目（6月18日）講演会は、茶の文化について茶室を中心にしたお話、その後、「茶室と庭園」で有名な慈光院を訪ね、寛文6年（1666）京都大徳寺の玉舟和尚が慈光院書院から庭園と大和平野の眺めを称賛され、遠山の四季の風景から慈光院八景を選ばれた、その書院・茶室を拝見し、お庭を拝見しながら解説をして頂きます。



慈光院蓮池（画 磯正子）

また、慈光院で石州料理（精進料理）を戴き、本物の大和の文化・茶の文化を味わって頂きます。

第2回目（11月8日）講演会は、茶の歴史を中心としたお話、その後、郡山城下（外堀公園・紺屋箱本館）を見学し尾川さんを訪ね茶席菓子の展示や「懐石料理」で本物の大和の文化・茶の文化を味わいます。

第3回目（2月19日）郡山城で益梅展を見学、その後本家菊屋の茶室でお茶を戴き茶の文化を味わいます。



本家菊屋（画 磯正子）

豊臣秀長が兄の秀吉を郡山に招いた時の、お菓子にまつわるお話など菊屋さん26代目当主から解説して頂きます。

参加費：各回とも実費

（資料代・拝観料・お食事代など）

申込み：E-mail・往復はがき

（受付は1か月前～実施日の5日前まで）

N2

円楽大楽茶

時 期：平成23年10月8日(土) 雨天の場合は、9日(日)に順延

場 所：高山竹林園

奈良県生駒市高山町3440

【問い合わせ先】生駒市役所産業振興課商工観光係

■〒630-0208 奈良県生駒市東新町8-38 ■TEL.0743-74-1111 ■FAX.0743-74-9100

■E-mail sangyo@city.ikoma.lg.jp ■担当 山方 晋

主催：生駒市

奈良県高山茶釜生産協同組合／奈良県茶道具同業組合／奈良県編針工業協同組合／生駒市茶道協会

■ようこそ高山茶釜のさとへ

室町時代、鷹山城主の次男、鷹山民部丞入道宗砌の創始と伝えられています。

茶道の祖、奈良称名寺の住職、村田珠光が茶の葉を粉末にして飲むことを考案し、親交のあった宗砌に依頼し、苦心を重ね作り上げたと言われています。

後土御門天皇の行幸の折りに、天覧され「高穂」という名を賜りました。

この光栄を鷹山一族の技として継承し、後の茶道隆盛に流派の違いによる数多くの茶釜を考案し、一子相伝にて技を伝え続け、全国唯一の茶釜作づくりの里として発展してきました。

大和の国は、「日本文化のふるさと」、「日本のまほろば」といわれています。日本人は古代より春・夏・秋・冬・自然の中で、竹の特性と美しさを日常生活の中に生かし、風情

のある生活を営んできました。生駒市高山地域は、室町時代から受け継がれてきた「茶釜師の里」として広く知られ、緻密で精微な技法は、「日本の茶の湯」を通じて国の内外で高い評価を受けてい



円楽大楽茶21

ます。他に類のない優れた伝統技術で作られる高山茶釜は、国内生産のほとんどをこの地域で作っています。円楽大楽茶は、直径39cm、重さ3kgもあるお茶碗や、長さ40cmもある茶釜など、すべて大きなサイズのお茶の道具を使って楽しくお茶をいただきます。

このイベントは、生駒市が主催する生駒・高山 竹あかりの夕べの午後のイベントとして実施しているもので、奈良県高山茶釜生産協同組合のみなさんが中心となって開催しています。また同時に、生駒市茶道協会が中心となり、高山竹林園会場内和室において、茶道のお点前披露も行われます。夜は、竹の造形物に水ろうそく等のあかりで照らす幻想的なあかりの行事とコンサートも合わせて行っています。



大楽茶

N3

大茶盛式

時期：平成23年1月15日(土)、4月9日(土)・10日(日)、10月9日(日)

場所：西大寺境内(光明殿)

奈良市西大寺芝町1-1-5 西大寺

【問い合わせ先】西大寺

■〒631-0825 奈良市西大寺芝町1-1-5 西大寺 ■TEL.0742-45-4700 ■FAX.0742-45-4720

■URL <http://www.naranet.co.jp/saidaiji/> ■担当 西大寺寺務所

主催：真言律宗総本山 西大寺

■大茶盛式

南都西大寺は奈良時代に称徳天皇の勅願によって創建された南都七大寺の随一ですが、平安時代に一時衰退し、鎌倉時代に稀代の名僧・興正菩薩叡尊上人によって再興された名刹です。この叡尊の「真言律」の法燈を伝える西大寺で、鎌倉時代から継承される伝統的茶儀が大茶盛です。直径40cmほどもある巨大茶碗で参加者が抹茶を廻し吞みます。現在では春秋二季(4月・10月)と1月15日の初釜に大々的に開催し、多くの参拝客で賑わいます。ただ普段でも団体予約を承って随時行っております。

寺伝では以下のような由来を伝えます。叡尊の入住以来、再建が急速に進んだ延応元年(1234)正月、伽藍再興の祝典を兼ねて大法要が催されました。それが無事に終了した後の1月16日、叡尊が鎮守八幡に御礼のご献茶を行った際に、その余服の茶を参集した村人に振る舞われました。鎌倉時代、日本に伝来して間もない茶は、まだまだ日常的な喫飲というよりも、高貴薬として重宝されてきました。上人が薬としての茶を民衆に施したのは、上人の医療・福祉の理念の具現化と捉えられます。一方、武家の慣習において、客人をもてなす場には酒がよく用いられ、酒を酌んで和気藹々と語り合うのを酒盛と言いました。しかし叡尊が重視した仏教戒律の条項に不飲酒戒(自らの飲酒や他に酒を勧めるこ



お道具とお点前の様子



参拝客の拝服の様子

との禁制)があり、西大寺では酒での接待は叶いません。その代用として登場したのが茶です。酒の代りに茶で催す宴会なので茶盛と呼ばれました。大和きっての高僧と謳われた叡尊上人が振る舞う茶ということで評判を呼び、年々参詣者が増えてゆき、それにしたがって茶碗も大きくなってゆき、巨大茶碗による茶宴ということで大茶盛の名称が生れたと伝えます。このように西大寺の大茶盛式は福祉と戒律という叡尊の二つの宗教精神を支柱として現在に至るまで連綿と受継がれてきた伝統的行事なのです。

是非その精神を味わってくださいませ。

③

利き茶お茶当てコンクール 闘茶会

時期：平成23年秋

場所：奈良県内

【問い合わせ先】奈良県農林部農業水産振興課

■〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30 ■TEL.0742-27-7443 ■FAX.0742-22-9521

■担当 山原

主催：社団法人奈良県茶業会議所
奈良県

■利き茶お茶当てコンクール 闘茶会

一般消費者を対象にしたイベント。昨年、全国お茶まつりが奈良県で35年ぶりに開催されました。関連イベントとして広く一般消費者の方を対象に、お茶やその文化に親しんで頂こうと、鎌倉時代に流行した「闘茶」を開催しました。そのポストイベントとして、今年も「闘茶会」を奈良県で開催します。初めての方も、お茶に詳しい方も奮ってご参加ください。

※闘茶とはお酒に利き酒があるのと同じようにお茶にも利き茶、お茶当てというものがあります。それを一定のルールを作り競技形式にしたものが「闘茶」です。お茶を飲んで、茶種や産地を当て、投票箱（写真）を用いて得点を競いあう競技です。（昨年は、玉露、かぶせ茶、煎茶、二番茶、ほうじ茶を出題。800名の中から5名の方が満点をとられました。）



闘茶会札



闘茶会様子 大闘茶会① (H22)



闘茶会様子 大闘茶会② (H22)



闘茶会様子 大闘茶会③ (H22)

写真出典：大闘茶会 (H22)

N4

平城京天平祭2011

時期：平成23年4月29日（金）～5月5日（木）

場所：平城宮跡会場

奈良市佐紀町 平城宮跡内

【問い合わせ先】平城京天平祭実行委員会

■〒630-8014 奈良市法蓮佐保山1-6-1 ■TEL.0742-25-0707 ■FAX.0742-24-7771

■URL <http://www.tenpyosai.jp> ■E-mail info@tenpyosai.jp ■担当 平田隆子

主催：平城京天平祭実行委員会

奈良県／奈良市／奈良にぎわいづくり実行委員会

■世界遺産・平城宮跡で「さくら茶会」

平城京天平祭で、お茶の始まりを知る

ツアー紹介と、さくら茶会開催

奈良は2010年、平城遷都1300年を迎え、一年を通して、奈良に来て、見て、知っていただく機会となりました。

1300年祭が終わった後も、日本のまほろばである奈良が引き続き日本人のアイデンティティを感じられる地になるよう、新たに「平城京天平祭」として本年より祭りを開催しております。

天平の時代を彷彿とさせながら、壮大な平城宮跡にたたずんでいただき、ゆったりした時間をお過ごしいただくために、様々なプログラムをご用意しております。

その一つが「さくら茶会」です。

奈良八重桜は聖武天皇が終生愛されたもので、後も多くの歴史人物に愛されて、今は奈良の県花ともなっております。

また、お茶は中国から遣唐使により奈良に伝わり、それが発展したもので、茶畑を始め今も茶筌や茶杓などが伝統工芸品として奈良の特産にもなっております。

そのようなことから、平城京天平祭で、県内の大学の茶道部や茶道愛好会の皆様などに日替わりでお茶席を設けていただき、訪れる

皆様に茶の文化を体験していただきました。

●参加団体

畿央大学 奈良女子大学 奈良教育大学
奈良文化女子短期大学 帝塚山大学
奈良育英学園同窓会

またお茶の始まりを旅するツアーとして、ゆかりの各地を展示で紹介、スライドショーや、茶器、茶箱などの展示、大和茶を使った大和茶おにぎり、大和茶ほうじ茶及び緑茶おにぎりの販売、大和茶の試飲なども行い、お茶の文化を広めました。

秋の天平祭においては、平城遷都1300年祭においても行われた「天平茶会」を開催、天平時代の古式を思わせる茶会です。



畿央大学茶道部の皆さんによる御茶席。



奈良教育大学の皆さんによる御茶席。留学生も参加し、新聞取材もありました。



「お茶の始まりを旅する」ツアー紹介やおにぎりの販売



昨年の平城遷都1300年祭「天平茶会」の様子。本年は秋に行われます。

N5

お茶の始まりを旅しよう

時 期：平成24年2月16日(木)

場 所：称名寺→林神社→高山茶釜・・・バスでツアー一観光

【問い合わせ先】株式会社濱観光サービス

■〒633-0001 奈良県桜井市三輪115-1 ■TEL.0744-45-3515 ■FAX.0744-45-3988

■E-mail akira@hamakankou.co.jp ■担当 吉田 瑛

主催：食ゆき奈良

■ 始まりの古都・奈良への誘い いざな

奈良には心ふるえる歴史の感動がいくつもあります。始まりを体感でき、知的好奇心を満足させるバスツアーを企画しました。

行程

AM9:00JR奈良駅・AM9:15近鉄奈良駅を出発。

まず、参禅工風を重ね、茶禅一味の境地に至り、侘び茶の祖といわれる村田珠光ゆかりの寺、称名寺を訪ねます。称名寺本殿と他の茶席には見られない造作とされる獨慮庵（俗称・珠光庵）を拝観して頂きます。

続いて、称名寺のすぐ近く漢國神社の境内にある林浄因を祭神として祀る林神社へ向かいます。林浄因は現在の中国・浙江省出身で、禅寺でも食せるようにとひと工夫され、日本で最初に甘い小豆餡の入った饅頭を作った人です。餡入り饅頭は茶道の点心として珍重されていきます。

軽い食事を楽しんで頂き、午後「茶釜の里」高山へと向かいます。

室町時代、村田珠光は、親交のあった鷹山城主の次男宗砌に、抹茶をいただくのに相応しい道具を依頼しました。宗砌は苦心に苦心を重ね、竹を使って作り出したのが、高山茶釜の始まりとされています。一子相伝にて今日まで技を伝え続け、国産の茶釜の9割以上を生産するといわれている。その技と冬の風物詩「竹の寒干し」をご覧頂きます。

PM16:00夕食「たまゆら」にて茶遊御膳。

PM18:00に其々の出発地に到着の予定です。

参加費：12,000円（募集人数20名）

申し込み：往復はがき（1枚につき2名迄）

受付：平成23年11月21日～

平成24年1月15日まで



称名寺



出典：食ゆき奈良 林神社（饅頭神社）



出典：食ゆき奈良 高山茶釜（竹茗堂 久保左文） 出典：竹茗堂

W1

第6回和歌山城市民茶会

時期：平成23年10月15日(土)・16日(日)

場所：和歌山城西の丸広場・紅松庵

和歌山市一番丁3番地

【問い合わせ先】和歌山城市民茶会実行委員会

■〒640-8511 和歌山市七番丁23番地 和歌山市役所 観光課内 ■TEL.073-435-1234

■FAX.073-435-1263 ■E-mail kanko@city.wakayama.lg.jp ■担当 堀

主催：和歌山城市民茶会実行委員会

表千家同門会和歌山県支部／裏千家淡交会和歌山支部／和歌山市観光協会

■ 伝統文化をもっと身近に！

和歌山城市民茶会は、作法を知らない方でもお気軽にお茶とお菓子を楽しんでいただけるお茶会として開催され、今年度で第6回目を迎えます。

四季折々の顔を持つ和歌山城にて、茶道会を代表する表千家・裏千家による茶席が、野点にて楽しんでいただけます。

会場内では雰囲気盛り上げるため、琴や雅楽の生演奏もされ、広場が非日常の空間になります。

近づく秋を感じ、歴史に思いをはせながらお茶をゆっくりいただくといった贅沢な時間を過ごしていただけます。

また、幼い頃から着物や茶道といった日本の伝統文化に触れてもらって、感性を磨き、作法を学んでいただきたく、「子ども茶道体験」も実施しています。

●和歌山城市民茶会

日時：平成23年10月15日(土)

平成23年10月16日(日)

10時～16時(受付15時終了)

場所：和歌山城 西の丸広場

料金：前売り券：700円

(表千家・裏千家の各1席ずつ)

当日券：400円(1席)

※和歌山城天守閣入場券付(当日のみ有効)

●子ども茶道体験

日時：平成23年10月15日(土)

平成23年10月16日(日)

9時30分・11時・13時・14時30分

各日4回(20名ずつ)

場所：和歌山城紅松庵

参加費：無料

対象：小学校1年生～6年生

※往復はがきで事前申込み要



和歌山城市民茶会表千家茶席風景



和歌山城市民茶会裏千家茶席風景

M1

みえ県民茶会

時期：通常は年1回秋季開催

場所：県内の歴史的建物等を活用して開催

【問い合わせ先】三重県茶道協会

〒511-0923 三重県桑名市桑部571-3 ■TEL.0594-24-2938 ■FAX.0594-24-2938

■E-mail DQE04371@nifty.com ■担当 山本幸太郎

主催：三重県茶道協会

三重県、三重県文化振興事業団

■みえ県民茶会の案内と趣旨

県内の茶道関係者、一般県民を対象にした大寄せの茶会。茶席は畳座席と椅子席（立礼席）を会場に応じて用意。凛とした雰囲気があり堅苦しい感のある茶道を広く一般県民の皆さんが普段着で気楽に参加体験できるように工夫しています。

担当する茶道流派も三重県内の主な茶道流派が自由に主催できるように計っています。主に表千家流と裏千家流が協力して開催しています。

年1回広く県民の皆さんが自由に参加する機会を得易いように又、地区の銘菓や文化施設を利用することで地区文化の活性化の一助に為る事を期待して、南北に長い三重県内の場所を変えて開催しています。17年間欠かさず継続開催しています

優れた日本の伝統文化を継承、普及させる事は、年々厳しい状況にあるが、行政をはじめ県内の文化団体等の理解と協力を得て、継続は力なりをモットーに、関係者力を合わせて努めています。

昨年度は桑名市にある国の重要文化財指定の施設で3流派による茶会を名勝指定のある庭園の参観を兼ね開催しました。延べ千数百名の一般県民の参加があり盛況でありました。



22年度 みえ県民茶会 畳席での茶席風景



22年度 茶会席 廊入り風景



21年度 みえ県民茶会 立礼席 風景



22年度 みえ県民茶会 茶室での薄茶点前

M2

じばさん市「新茶フェア」

時 期：平成23年5月4日(水)～5日(木)

場 所：(財)三重北勢地域地場産業振興センター(じばさん三重)
四日市市安島1-3-18

【問い合わせ先】(財)三重北勢地域地場産業振興センター(じばさん三重)

■〒510-0075 四日市市安島1-3-18 ■TEL.059-353-8100 ■FAX.059-353-8104

■E-mail info@jibasanmie.or.jp ■担当 鳥越高昭

主催：(財)三重北勢地域地場産業振興センター
水沢茶農業協同組合

■じばさん市「新茶フェア」の開催

三重県四日市市、鈴鹿市及び亀山市等で主に生産される「伊勢茶」のPR・普及を図るため、新茶をお値打ちに販売する「新茶フェア」を開催します。

三重県北勢地域の地場産業である伊勢茶は「伊勢の銘茶を萬古焼(ばんこやき)で飲む」と言われるように、四日市萬古焼の急須とともに全国的に知られています。新茶の時期に開催する「新茶フェア」を通じて、急須でお茶を飲む習慣を再認識していただく機会を設けます。

四日市萬古焼急須も高級手造り品から千円程度のお値打ち品まで、また、お手軽な抹茶碗も多数取り揃えています。

他に、粉末緑茶を使った和菓子(どら焼きなど)、緑茶こんにやくや手軽に料理に使えるよう小袋入りの粉末緑茶「すいざわそだち(5袋入)」を販売します。

さらに、新茶を使った電子レンジによる緑茶の作り方体験コーナー(参加無料)を設置することにより、お茶の香り、うまみ、手造りの良さを理解していただきます。



新茶のお値打ち販売



四日市萬古焼急須



緑茶の作り方体験



すいざわそだち

M3

四日市萬古まつり

時期：平成23年5月14日(土)・15日(日)

場所：萬古神社周辺

三重県四日市市陶栄町

【問い合わせ先】萬古陶磁器振興協同組合連合会

■〒510-0035 三重県四日市市陶栄町4-8 ■TEL.059-330-2020 ■FAX.059-330-2021

■E-mail bansyou@m6.cty-net.ne.jp ■担当 石崎和豊

主催：萬古陶磁器振興協同組合連合会

共同する団体名：萬古陶磁器卸商業協同組合／萬古陶磁器工業協同組合

■四日市萬古まつり

四日市萬古まつりは、今年で50回を迎える全国から2日間で約10万人の来場者が集まる陶器市であります。

四日市萬古焼の特色は、国内生産の80%を占めるといわれております土鍋等の耐熱製品が挙げられますが、昭和54年に国の伝統的工芸品の指定を受けました紫泥急須の製造技法等も、昔から「伊勢の銘茶を萬古で飲む」というふうに、伊勢茶とともに広く全国に知られております。

まつり当日は、使うほどに味わいと光沢を増す紫泥急須の販売はもとより、ばんご村（イベント会場）での萬古急須で利き茶クイズ等を開催し、来場者に本当のお茶のおいしさを知っていただき、萬古急須を使っていただいたお茶のおいしさを味わっていただくことにより、萬古急須を使ってお茶を飲む習慣の普及を行い、四日市萬古焼をPRする。



まつり風景



まつり風景



萬古急須 利き茶クイズ



まつり風景

M4

伊賀焼新緑陶器市

時期：5月2日(月)～4日(水)

場所：伊賀焼伝統産業会館

三重県伊賀市丸柱169-2

【問い合わせ先】伊賀焼振興協同組合

■〒518-1322 三重県伊賀市丸柱169-2 ■TEL.0595-44-1701 ■FAX.0595-44-1701

■E-mail igaden3.itc.ne.jp ■担当 吉岡聖子

主催：伊賀焼振興協同組合

■伊賀焼新緑陶器市

伊賀焼伝統産業会館前周辺でテントで陶器の展示即売市、格安で掘り出し物が多く出品される。又丸柱地区一帯でも窯元や、陶芸作家およそ30軒が皿や湯呑等の食器類からオブジェまでバラエティーに富んだ陶器が所狭しと並んで軒を重ねている。



伊賀焼新緑陶器市

伊賀焼香合

香合は香の入れ物で焼きも物香合は紹鴎・利休の時代になって炉の炭点前で使われるようになり、伊賀の伽藍香合は茶陶伊賀の名物であります。



伽藍香合

出典：普門窯 峰 興徳

伊賀焼水差

茶道は日本人の伝統文化の精神として受け継がれています。ピード口、焦げ、緋色が三位一体となった「古伊賀写し」も芸術の内です。「茶陶伊賀」を抜きしては伊賀焼は語れません。



水差

出典：常山窯 恒岡光興